

パフォーマンス シリーズ IP カメラ ソフトウェア設定ガイド

H2W2PRV3	HBW2PR1	HEW2PR2
H2W4PRV3	HBW2PR2	HEW2PRW1
H4W2PRV2	HBW4PR1	HEW4PR2
H4W4PRV2	HBW4PR2	HEW4PR3
H4W4PRV3	HEW2PR1	HEW4PRW3

推奨事項

Honeywell ビデオのウェブサイトで、本最新版やその他のパフォーマンスシリーズ IP カメラの文書を購入してください。お使いのカメラを見つけて、最新の文書を表示/ダウンロードするには <http://www.honeywellvideo.com/products/cameras/ip/index.html> にアクセスしてください。

オープンで統合的なソリューションの詳細については、Honeywell オープン・テクノロジー・アライアンス (<http://www.security.honeywell.com/hota/>)をご参照ください。



改正

発行	日付	改正
A	2016年7月	新規文書
B	2016年9月	MFZ IP カメラの仕様と寸法情報の追加
C	2016年11月	製造業者による適合宣言の編集

注意および警告

	CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN		 THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.
CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.			 THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.

 **警告** すべての現地法規を遵守し、保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。

 **警告** この製品は、電気安全基準の遵守を確実にするために、ユニットに「Limited Power Source」(専用電源)または「LPS」と表示された定格電力アダプタ(定格 12VDC、最小 0.7A、TMA = 60°C)での使用、または、IEEE 802.3af PoE 標準に適合した情報技術装置によって提供される PoE (パワー・オーバー・イーサネット)を通じた使用を意図しています。

イーサネット接続は、公開されたネットワーク(屋外施設等)に接続することを目的としていません。カメラに同時に2つの電源を接続しないでください。

注意 不可視 LED 照射 (850 nm) 光線を見ないでください

規制に関する声明

FCC 遵守声明

使用者のための情報: この装置は、FCC ルールの **Part 15** に従って、クラス **B** デジタル・デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの規制は、住宅地で設置した場合に有害な干渉が起きないようにするために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生及び使用し、場合によっては放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては干渉を起こさないという保証はありません。

本装置により有害な無線干渉または映像の受信障害が起きた場合(装置の電源をオン、オフに切り替えると判断できる場合があります)、以下の方法を試して妨害を避けてください。

- 受信アンテナの向きや置き場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに本装置を接続する
- 取扱店または信頼できる無線/映像技術者に問い合わせる

注

法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本製品を使用する権利を剥奪されることがあります。

遵守声明 (カナダ)

このクラス B デジタル・デバイスはカナダの ICES-003 に準拠しています。

このクラス B デジタル・デバイスはカナダの NMB-003 に準拠しています。

製造業者による適合宣言

このガイドで提供される装置は、次の欧州連合理事会指令の条項を満たしています。

- 2014/30/EU (EMC)
- 2001/95/EC (安全性)
- 2011/65/EU (RoHS 適合性)

廃電気・電子機器指令 (WEEE)



本製品の正しい処分 (個別の回収システムを適用している EU と他のヨーロッパ諸国にも該当)

この製品は、該当する地域の法律、規制、および手順に従って、耐用年数終了後に処分する必要があります。

安全の手引き

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んで従ってください。設置後は、将来の参照のために、安全および操作説明書を保持してください。

1. **ご注意ください** - 本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。
2. **インストール**
 - 製造元の指示に従って取り付けてください。
 - すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
 - 製品の壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。
3. **電源** - 本製品は、マーキングラベルに記載されている電源の種類からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。

4. **取り付けシステム** - 製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。
5. **付属品/アクセサリ** - 製品の製造元が推奨しない付属品/アクセサリを使用しないでください。火災、感電、人身事故の危険があります。
6. **清掃** - 液体クリーナーやエアロゾルクリーナーは使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。
7. **修理** - 本機をお客様自身で修理しようとししないでください。資格のある修理担当者に問い合わせてください。
8. **交換部品** - 交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。元の製造元以外で製造された交換部品または付属品を使用すると、保証が無効になることがあります。

保証と修理

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywellは、その裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。

Honeywell 製品に問題がある場合は、カスタマーサービスまでご連絡（1.800.323.4576）いただき、サポートを依頼するか、**返品保証（RMA）** 番号をリクエストしてください。

テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。

すべての返品、交換、または返金については事前の承認が必要です。**明確に識別された返品保証（RMA）** 番号を添付することなく Honeywell に製品を発送すると、拒否される場合があります。

目次

1	はじめに.....	1
	概要.....	1
	主な機能.....	1
	カメラの寸法.....	2
	HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 ボール カメラ.....	3
	H2W2PRV3/H2W4PRV3 マイクロ ドーム カメラ.....	3
	HBW2PR1/HBW4PR1 Bullet カメラ.....	4
	H4W4PRV3 ミニ ドーム カメラ.....	4
	H4W2PRV2/H4W4PRV2 ミニ ドーム カメラ.....	5
	HEW2PR2/HEW4PR2 ボール カメラ.....	5
	HBW2PR2/HBW4PR2 Bullet カメラ.....	6
2	最初の使用手順.....	7
	構成ツール IP ユーティリティのインストール.....	7
	ネットワーク上でのデバイス検出.....	7
	デバイスへの新しい IP アドレスの割り当て.....	7
	デバイスファームウェアのアップグレード.....	9
	つのデバイスをアップグレードするには :	9
	複数のデバイスを同時にアップグレードするには :	9
	Web クライアントの起動.....	10
3	ログインとライブビデオの表示.....	11
	Web クライアントからのカメラへのログイン.....	11
	始める前に.....	11
	カメラへのログイン.....	11
	ブラウザプラグインのインストール.....	12
	ライブビューインターフェースの使用.....	13
	動画エンコーダ設定.....	13
	システムメニュー.....	15
	ライブビューコントロール.....	15
	ライブビューウィンドウの構成.....	17
4	動画の再生.....	18
	はじめに.....	18
	[再生]インターフェースの概要.....	19
	録画した動画の再生.....	19
	再生コントロール.....	19
	カレンダーからの録画ファイルの再生.....	20
	録画タイプによるファイルの検索.....	21
	タイムラインの構成.....	22
	Playback Assistant[再生アシスタント]の使用.....	22
	ズーム インとズーム アウト.....	22

	スナップショットの撮り方.....	22
	ビデオクリップの作成.....	22
	スナップショットの表示.....	23
5	カメラ設定の構成.....	25
	カメラ設定の構成.....	25
	条件.....	25
	Profile Management[プロファイル管理].....	28
	Zoom and Focus[ズームとフォーカス].....	29
	動画設定.....	30
	Snapshot[スナップショット].....	32
	Video Overlay[動画重ね表示].....	33
	ROI.....	34
	Path[パス（保存場所）].....	34
	ネットワーク設定の構成.....	35
	TCP/IP.....	35
	P2P.....	37
	接続.....	37
	ONVIF.....	39
	PPPoE.....	39
	DDNS.....	40
	IP Filter[IP フィルタ].....	41
	SMTP(E メール).....	43
	UPnP.....	44
	SNMP.....	45
	Bonjour.....	47
	Multicast[マルチキャスト].....	47
	IEEE802.1X.....	48
	QoS.....	49
	Certificate[証明書].....	49
	ストレージ設定の構成.....	50
	スケジュールとスナップショットスケジュールの記録.....	50
	Destination[送信先].....	51
	Record Control[レコードコントロール].....	54
	システム設定の構成.....	55
	一般システム設定.....	55
	アカウント設定.....	57
	出荷時設定の復元.....	60
	Import/Export[インポート/エクスポート].....	61
	自動メンテナンス.....	61
	Upgrade[アップグレード].....	62
	システム情報の表示.....	62
	Version[バージョン].....	62

	Log[ログ].....	63
	Online User[オンラインユーザー].....	63
6	イベントとアラームの設定	65
	イベントの設定.....	65
	動き検出設定の構成.....	65
	カメラ改ざん設定の構成.....	68
	システムイベント設定の構成.....	69
	アラームの設定.....	72
7	トラブルシューティング	74
	埋め込み型 NVR 統合キャパシティマトリックス.....	76
8	カメラの仕様	77
	HEW2PR1/HEW2PRW1/HEW4PR3/HEW4PRW3 ボールカメラ.....	77
	HBW2PR1/HBW4PR1 Bulletカメラ.....	80
	H2W2PRV3/H2W4PRV3 マイクロドームカメラ.....	82
	H4W4PRV3 ミニドームカメラ.....	84
	H4W2PRV2/H4W4PRV2 ミニドームカメラ.....	86
	HEW2PR2/HEW4PR2 ボールカメラ.....	88
	HBW2PR2/HBW4PR2 Bulletカメラ.....	90
	記号の一覧.....	92



図 1-1 HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 の寸法.....	3
図 1-2 HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 のコンポーネント.....	3
図 1-3 H2W2PRV3/H2W4PRV3 の寸法.....	3
図 1-4 H2W2PRV3/H2W4PRV3 のコンポーネント.....	3
図 1-5 HBW2PR1/HBW4PR1 の寸法.....	4
図 1-6 HBW2PR1/HBW4PR1 のコンポーネント.....	4
図 1-7 H4W4PRV3 の寸法.....	4
図 1-8 H4W4PRV3 のコンポーネント.....	4
図 1-9 H4W2PRV2/H4W4PRV2 の寸法.....	5
図 1-10 H4W2PRV2/H4W4PRV2 のコンポーネント.....	5
図 1-11 HEW2PR2/HEW4PR2 の寸法.....	5
図 1-12 HEW2PR2/HEW4PR2 のコンポーネント.....	5
図 1-13 HBW2PR2/HBW4PR2 の寸法.....	6
図 1-14 HBW2PR2/HBW4PR2 のコンポーネント.....	6
図 2-1 デバイスへのログイン.....	8
図 2-2 ネットワーク設定.....	8
図 2-3 アップグレード画面.....	9
図 2-4 バッチモードの選択.....	9
図 2-5 バッチモード画面.....	10
図 2-6 バッチアップグレードダイアログボックス.....	10
図 3-1 ログイン画面.....	12
図 3-2 初回ログインのメッセージ.....	12
図 3-3 プラグインのファイルダウンロードセキュリティ警告メッセージ.....	12
図 3-4 Internet Explorer - セキュリティ警告.....	13
図 3-5 ライブビューインターフェース.....	13
図 3-6 動画エンコーダ設定.....	14
図 3-7 システムメニュー.....	15
図 3-8 ライブビューウィンドウコントロール.....	15
図 3-9 ライブビューウィンドウ構成ツールバー.....	17
図 4-1 再生インターフェース.....	19
図 4-2 再生コントロール.....	19
図 4-3 再生カレンダー.....	20
図 4-4 録画タイムライン.....	21
図 4-5 再生ファイルの詳細.....	21
図 4-6 Playback[再生] での録画タイプフィルタ.....	21
図 4-7 再生タイムライン構成.....	22
図 4-8 クリップ機能のコントロール.....	23
図 4-9 スナップショット再生コントロールインターフェース.....	23
図 4-10 スナップショットの一覧.....	24
図 5-1 カメラ設定ウィンドウ.....	25
図 5-2 プロファイル管理タブ.....	28
図 5-3 電動ズームとフォーカス.....	29
図 5-4 動画ビットストリーム構成ウィンドウ.....	30
図 5-5 スナップショット構成インターフェース.....	32
図 5-6 動画重ね表示構成インターフェース.....	33
図 5-7 ROI インターフェース.....	34

図 5-8	ストレージパスインターフェース	34
図 5-9	TCP/IP インターフェース	35
図 5-10	P2P 構成インターフェース	37
図 5-11	接続構成インターフェース	37
図 5-12	PPPoE 構成インターフェース	39
図 5-13	DDNS 構成インターフェース	40
図 5-14	Honeywell DDNS を使った DDNS の設定	41
図 5-15	IP フィルタ構成インターフェース	42
図 5-16	SMTP 構成インターフェース	43
図 5-17	UPnP 構成インターフェース	44
図 5-18	SNMP 構成インターフェース	45
図 5-19	Bonjour 構成インターフェース	47
図 5-20	マルチキャスト構成インターフェース	47
図 5-21	802.1X 構成インターフェース	48
図 5-22	QoS 構成インターフェース	49
図 5-23	証明書構成インターフェース	50
図 5-24	録画スケジュール構成インターフェース	50
図 5-25	Holiday Schedule[休日スケジュール]	51
図 5-26	パス構成インターフェース	52
図 5-27	ローカル記憶装置構成インターフェース	52
図 5-28	FTP 構成インターフェース	53
図 5-29	NAS 構成インターフェース	53
図 5-30	レコードコントロール構成インターフェース	54
図 5-31	一般システム構成インターフェース	55
図 5-32	日付&時刻構成インターフェース	56
図 5-33	ユーザー名構成インターフェース	57
図 5-34	ユーザー追加構成インターフェース	58
図 5-35	ユーザー変更インターフェース	58
図 5-36	グループ構成インターフェース	59
図 5-37	グループ追加インターフェース	59
図 5-38	グループ変更インターフェース	60
図 5-39	デフォルトインターフェース	60
図 5-40	インポート/エクスポート構成インターフェース	61
図 5-41	Auto Maintain[自動メンテナンス]構成インターフェース	61
図 5-42	アップグレードインターフェース	62
図 5-43	バージョンインターフェース	62
図 5-44	ログインターフェース	63
図 5-45	オンラインユーザーインターフェース	64
図 6-1	動画検出構成インターフェース	65
図 6-2	作動時間の設定	66
図 6-3	動き検出エリア設定	67
図 6-4	改ざん構成インターフェース	68
図 6-5	改ざん作動期間構成インターフェース	69
図 6-6	SD カードなし警告構成インターフェース	70
図 6-7	SD カードエラー警告構成インターフェース	70
図 6-8	容量警告構成インターフェース	70
図 6-9	切断構成インターフェース	71
図 6-10	IP 競合構成インターフェース	71
図 6-11	不正アクセス構成インターフェース	72

図 6-12 アラーム構成インターフェース.....	72
----------------------------	----

表

表 3-1	動画エンコーダ設定.....	14
表 3-2	ライブビューウィンドウコントロール.....	15
表 3-3	ライブビューウィンドウ構成ツール.....	17
表 4-1	再生コントロール.....	19
表 5-1	カメラ構成.....	26
表 5-2	ズームとフォーカス.....	29
表 5-3	動画ビットストリーム構成.....	30
表 5-4	スナップショット構成.....	32
表 5-5	動画重ね表示設定.....	33
表 5-6	ROI 設定.....	34
表 5-7	TCP/IP 設定.....	35
表 5-8	P2P 構成.....	37
表 5-9	接続構成.....	38
表 5-10	DDNS 構成.....	40
表 5-11	Honeywell DDNS 構成.....	41
表 5-12	SMTP (Eメール) 構成.....	43
表 5-13	SNMP 構成.....	45
表 5-14	マルチキャスト構成.....	48
表 5-15	802.1X 構成.....	48
表 5-16	QoS 構成.....	49
表 5-17	パス構成.....	52
表 5-18	FTP 構成.....	53
表 5-19	NAS 構成.....	54
表 5-20	レコードコントロール構成.....	54
表 5-21	一般システム構成.....	55
表 5-22	日付&時刻構成.....	56
表 5-23	インポート/エクスポート構成.....	61
表 5-24	ログインターフェース構成.....	63
表 6-1	動画検出構成.....	65
表 6-2	動き検出エリア設定.....	68
表 6-3	改ざん構成.....	68
表 6-4	アラーム構成.....	73
表 7-1	埋め込み型 NVR 統合マトリックス - 最大フレーム率と解像度.....	76
表 8-1	HEW2PR1/HEW2PRW1/HEW4PR3/HEW4PRW3 仕様.....	77
表 8-2	HBW2PR1/HBW4PR1 仕様.....	80
表 8-3	H2W2PRV3/H2W4PRV3 仕様.....	82
表 8-4	H4W4PRV3 仕様.....	84
表 8-5	H4W2PRV2/H4W4PRV2 仕様.....	86
表 8-6	HEW2PR2/HEW4PR2 仕様.....	88
表 8-7	HBW2PR2/HBW4PR2 仕様.....	90

この文書について

この文書では、パフォーマンス シリーズ IP カメラのアクセス、設定、および操作方法について説明します。この文書は、システムインストーラの担当者、管理者、および操作者を対象としています。

この文書の概要

この文書には、以下の章と付録が含まれています。

- 1 章 [はじめにはじめに](#) では、パフォーマンス シリーズ IP カメラの主な機能の概要を示します。
- 0 章 **Error! Reference source not found.** では、Web ブラウザからリモートでカメラにアクセスするための構成ツールのインストール方法について説明します。カメラのファームウェアをアップデートする方法についても説明します。
- 3 章 [ログインとライブビデオの表示](#) では、カメラにログインしてライブ動画を表示する方法について説明します。
- 4 章 [動画の再生](#) では、録画された動画とスナップショットを検索する方法と、それらをエクスポートする方法について説明します (H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2 のみ)。
- 5 章 [カメラ設定の構成](#) では、カメラ構成、ネットワーク構成、およびストレージ構成を含むすべての構成について説明します。
- 6 章 [イベントとアラームの設定](#) では、アラーム入力、動き検出、およびネットワーク障害イベントの通知を設定する方法を示します。
- 7 章 [トラブルシューティング](#) では、共通の問題と解決策を一覧で示します。
- 0 章 [カメラの仕様](#) では、パフォーマンス シリーズ IP カメラの仕様を一覧で示します。

1 はじめに

この章は以下の項で構成されています。

- [概要、ページ1](#)
- [主な機能、ページ1](#)
- [カメラの寸法、ページ2](#)

概要

HoneywellのパフォーマンスシリーズIPカメラは、動画データの収集と伝送を組み合わせたネットワークビデオ技術を従来のカメラと統合しています。柔軟性に優れたこれらの高機能カメラは、屋内および屋外のさまざまな監視アプリケーションに適しています。

Honeywell 4/8/16 チャンネルパフォーマンスシリーズ埋め込み型NVRとのプラグアンドプレイ互換性を持つこのカメラは、最大30フレーム/秒で2メガピクセルまたは4メガピクセルの解像度を提供し、最高の動画品質を保証しながら動画圧縮技術を使用して帯域幅とストレージを節約します。すべてのカメラは、インテリジェントなIR機能を備えたTrue Day/Nightで、薄暗い照明や夜間での環境下において最大60mの視認可能性を提供します。また、すべてのカメラは最大120dBのWDR機能をサポートしています。

各カメラには設定可能な動き検出とカメラ改ざん検出機能があり、最大4つのユーザー定義プライバシー保護領域をサポートしています。すべてのカメラは12VDCアダプタに加えてPoE（パワー・オーバー・イーサネット）をサポートしているため、別個の電源および配線が不要です。一部のモデルは、ネットワークサービス中断時にマイクロSDHCカードへのビデオ録画（最大128GB）もサポートします。

パフォーマンスシリーズIPカメラは、無料のHonView Touchモバイルアプリを使用して、AppleとAndroidの両方のスマートフォンとタブレットからいつでも、どこからでも監視できます。

主な機能

パフォーマンスシリーズIPカメラの主な機能は次のとおりです。

カメラ

- 昼/夜モード自動切換え
- 電子シャッターやゲインなどの画像パラメータの設定
- 動き検出
- ワイドダイナミックレンジ
- 逆光補正
- 修正を防ぐための動画透かし追加機能
- IRナイトビジョン

ストレージ

- 中央サーバーバックアップ（アラームまたはスケジュール設定で構成）
- インターネット経由での録音、クライアント PC へのファイル保存
- ネットワーク記憶装置 (FTP)

ネットワークモニタリング

- ネットワークへの 1 チャンネルビデオデータ伝送
- 端末と復号処理
- 270 ミリ秒未満の遅延時間（ネットワーク帯域幅のサポートが必要）
- 最大 20 接続
- 以下ネットワークプロトコルとの互換性：IPv4、IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、QoS、SSL、Bonjour、802.1X

ネットワーク管理

- イーサネットによるカメラの設定と管理
- インターネットまたはクライアント PC によるデバイス管理

ユーザー管理

- 各ユーザーが特定のグループに所属
- グループごとに異なるユーザー権限
- グループ権利を超えないユーザー権利

システム管理

- ログ機能
- システムリソース情報とリアルタイムステータス表示の実行

カメラの寸法

このセクションでは、各パフォーマンス シリーズ IP カメラの寸法と主要コンポーネント/コネクタを表示します。

HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 ボールカメラ

図 1-1 HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 の寸法

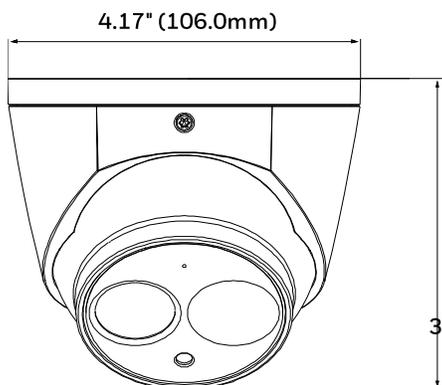
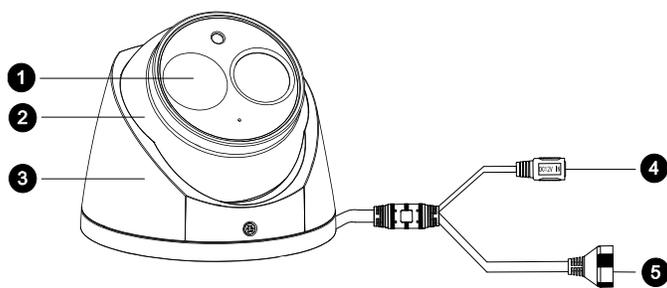


図 1-2 HEW2PR1/HEW4PR3/HEW2PRW1/HEW4PRW3 のコンポーネント



1	レンズ
2	カメラモジュール
3	カメラ外装
4	12V DC コネクタ
5	LAN コネクタ

H2W2PRV3/H2W4PRV3 マイクロドームカメラ

図 1-3 H2W2PRV3/H2W4PRV3 の寸法

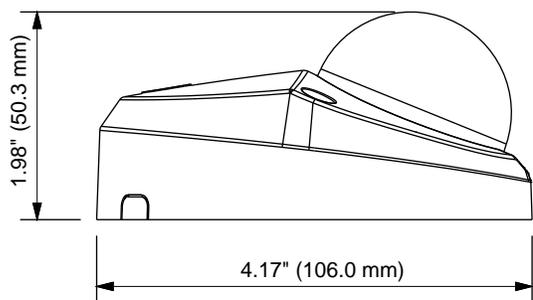
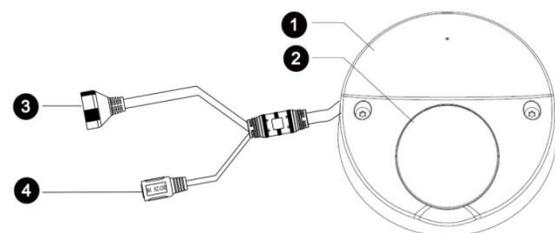


図 1-4 H2W2PRV3/H2W4PRV3 のコンポーネント



1	外装
2	ドームカバー
3	LAN コネクタ
4	12VDC コネクタ

HBW2PR1/HBW4PR1 Bullet カメラ

図 1-5 HBW2PR1/HBW4PR1 の寸法

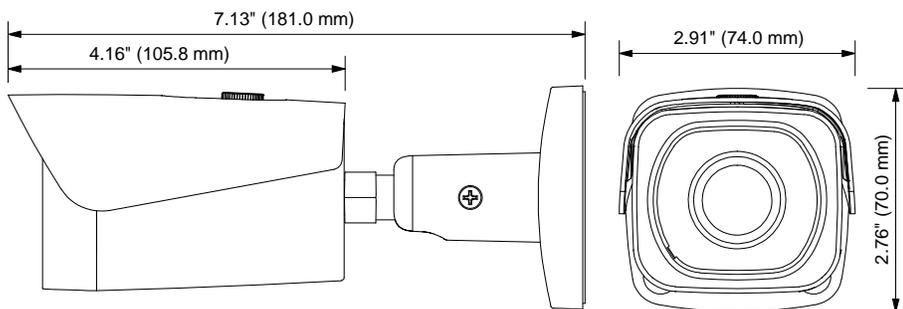
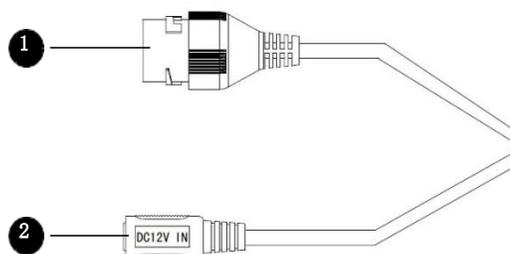


図 1-6 HBW2PR1/HBW4PR1 のコンポーネント



1	LAN コネクタ
2	12VDC コネクタ

H4W4PRV3 ミニドームカメラ

図 1-7 H4W4PRV3 の寸法

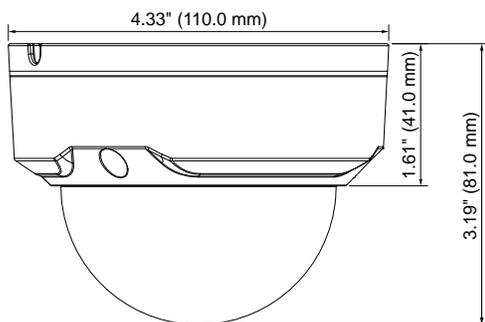
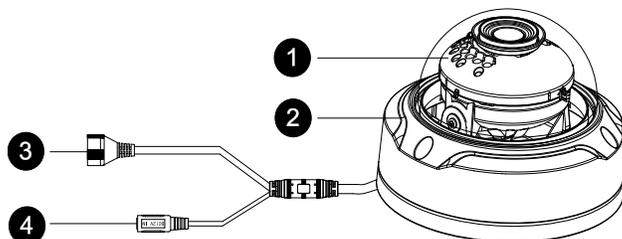


図 1-8 H4W4PRV3 のコンポーネント



1	カメラモジュール
2	カメラ外装
3	LAN コネクタ
4	12VDC コネクタ

H4W2PRV2/H4W4PRV2 ミニドームカメラ

図 1-9 H4W2PRV2/H4W4PRV2 の寸法

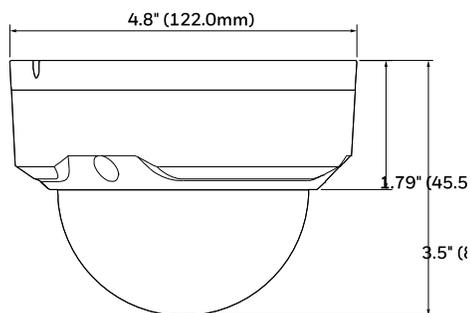
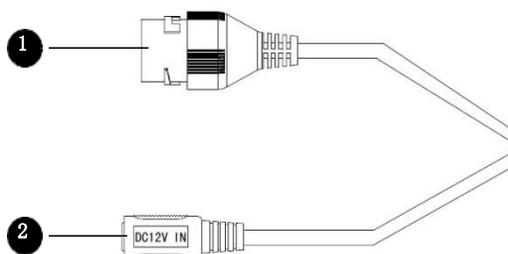


図 1-10 H4W2PRV2/H4W4PRV2 のコンポーネント



1	LAN コネクタ
2	12VDC コネクタ

HEW2PR2/HEW4PR2 ボールカメラ

図 1-11 HEW2PR2/HEW4PR2 の寸法

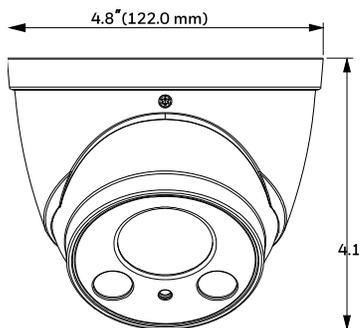
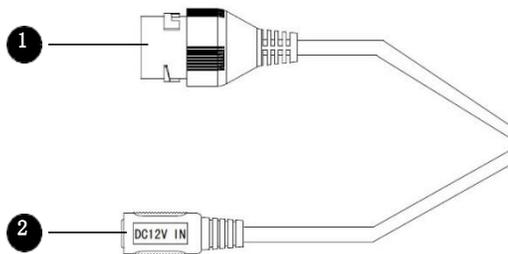


図 1-12 HEW2PR2/HEW4PR2 のコンポーネント



1	LAN コネクタ
2	12VDC コネクタ

HBW2PR2/HBW4PR2 Bullet カメラ

図 1-13 HBW2PR2/HBW4PR2 の寸法

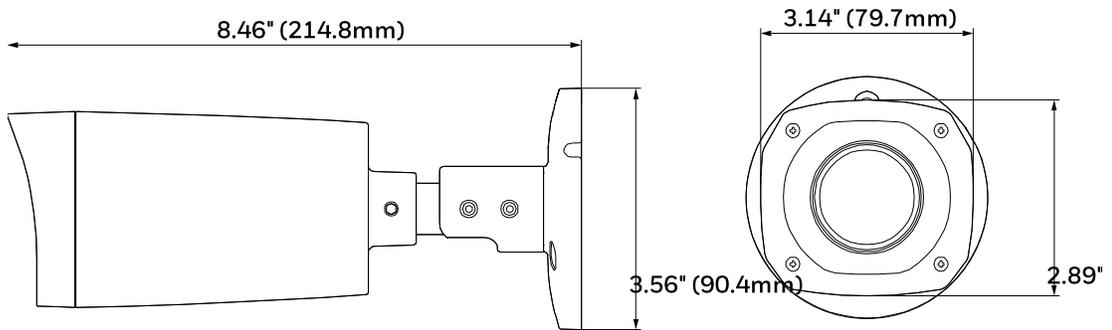
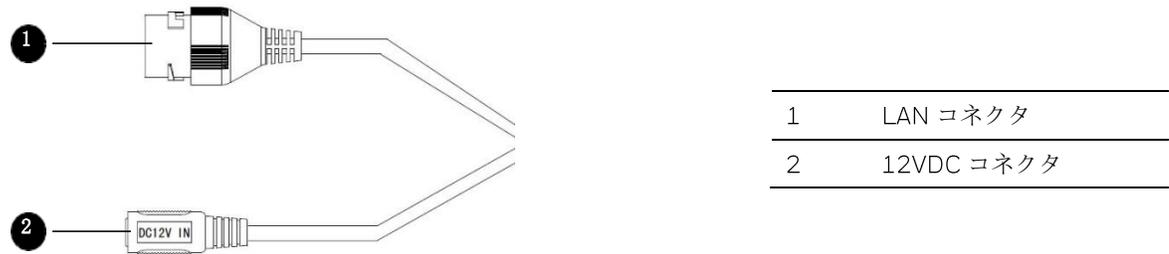


図 1-14 HBW2PR2/HBW4PR2 のコンポーネント



2 最初の使用手順

この章は以下の項で構成されています。

- [構成ツール IP ユーティリティのインストール、ページ7](#)
- [ネットワーク上でのデバイス検出、ページ7](#)
- [デバイスへの新しい IP アドレスの割り当て、ページ7](#)
- [デバイスファームウェアのアップグレード、ページ9](#)
- [Web クライアントの起動、ページ10](#)

構成ツール IP ユーティリティのインストール

カメラの使用を開始する前に、お使いの PC に構成ツール IP ユーティリティをインストールする必要があります。

1. カメラに同梱されたソフトウェア CD を PC のディスクドライブに挿入します。
2. **Honeywell 構成ツール** フォルダを開いて、**Honeywell 構成ツール.exe** をダブルクリックします。
3. 構成ツールのウェルカムスクリーンで、**[次]** をクリックします。
4. ユーザーライセンス契約を確認します。同意する場合は **I agree [同意します]** を選択します。
5. インストール先は必要に応じて変更することができます（構成ツールはデフォルトでは C:\Program Files にインストールされます）。インストールを続行するには **[インストール]** をクリックします。
6. インストールが成功すると "Installation is complete!"（インストールが成功しました）というメッセージが表示されます。 **[それではお楽しみください]** をクリックして構成ツールを開きます。

ネットワーク上でのデバイス検出

構成ツールを使用して、ネットワーク上の IP デバイスを検出します。デバイスを検出するには構成ツールを開きます。ネットワーク上に接続されているすべての IP デバイスが一覧表示されます。リストを更新するには **[更新]** をクリックします。

デバイスへの新しい IP アドレスの割り当て

デバイスの現在の IP アドレスは、構成ツールメインインターフェースの **IP** 列に表示されます。新しい静的 IP アドレスをデバイスに割り当てることができます。

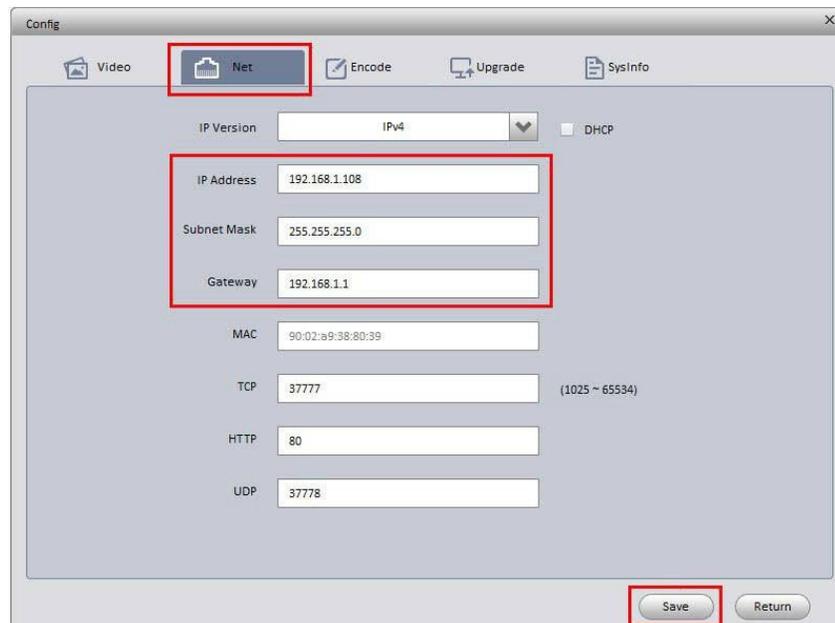
1. 構成ツールのデバイスリストから、新しい IP アドレスを割り当てるデバイスをクリックします。
2. **Login[ログイン]** をクリックしてデバイスのユーザー名とパスワードを入力（デフォルトユーザー名は **admin** でデフォルトパスワードは **1234**）して、**OK** をクリックします。

図 2-1 デバイスへのログイン



3. 構成画面でネットタブをクリックしてIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイフィールドに新しいIP設定を入力して、保存をクリックします。

図 2-2 ネットワーク設定



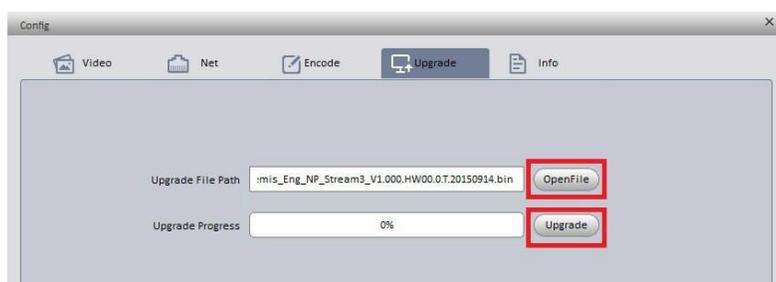
デバイスファームウェアのアップグレード

カメラを使用する前に、最新のファームウェアがインストールされていることを確認してください。つまたは複数のデバイスを同時にアップグレードできます。

つのデバイスをアップグレードするには：

1. 構成ツールのデバイスリストから、アップグレードするデバイスをクリックします。
2. **Login**[ログイン]をクリックしてデバイスのユーザー名とパスワードを入力（デフォルトユーザー名は **admin** でデフォルトパスワードは **1234**）して、**OK** をクリックします。
3. **Config**[構成]画面で **Upgrade**[アップグレード]タブをクリックします。
4. **OpenFile**[ファイルを開く]をクリックしてファームウェアファイルを含むディレクトリに移動し、**Upgrade**[アップグレード]をクリックします。

図 2-3 アップグレード画面

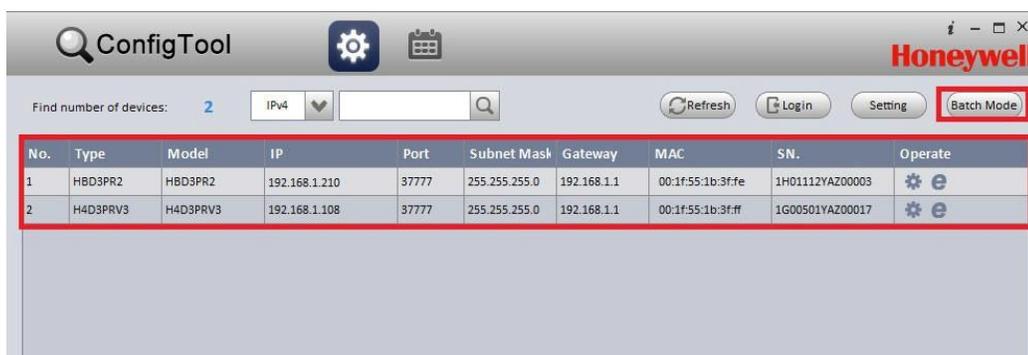


アップグレードが完了すると、デバイスは再起動します。デバイスが再起動している間 "Device is offline: [デバイス IP アドレス]"（デバイスが）オフラインですというメッセージが表示されます。

複数のデバイスを同時にアップグレードするには：

1. 構成ツールで **Batch Mode**[バッチモード]をクリックします。

図 2-4 バッチモードの選択



2. デバイスの一覧から、アップグレードするすべてのデバイスをクリックして **Start**[開始]をクリックします。

図 2-5 バッチモード画面



3. **Batch Upgrade**[バッチアップグレード]画面で **Open**[開く]をクリックして、ファームウェアファイルを含むディレクトリに移動し、**OK**をクリックします。

図 2-6 バッチアップグレードダイアログボックス



アップグレードが完了すると、デバイスは再起動します。デバイスが再起動している間 "Device is offline: [デバイス IP アドレス]" (デバイスが) オフラインですというメッセージが表示されます。

Web クライアントの起動

個別のカメラ設定は Web クライアントを使用して構成できます。構成ツールから Web クライアントを開くには、Web クライアントを開くデバイスをクリックし、**Operate**[操作]列で Microsoft Internet Explorer アイコンをクリックします。Web クライアントがブラウザで開きます。

3 ログインとライブビデオの表示

この章は以下の項で構成されています。

- [Web クライアントからのカメラへのログイン、ページ 11](#)
- [ライブビューインターフェースの使用、ページ 13](#)

Web クライアントからのカメラへのログイン

Web クライアントを使用すると、ライブビデオを監視し、録画された動画を再生し、カメラ設定を構成することができます。

始める前に

Web クライアントにログインする前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- カメラがネットワークに正しく接続されている。
- カメラの IP アドレスと PC の IP アドレスが同じネットワークセグメントに属する。ルータがある場合は、対応するゲートウェイとサブネットマスクが設定されている。
- ネットワーク接続が確立されている。これを確認するには、カメラの IP アドレスに ping を実行します。 ("ping [IP アドレス]"と入力します)。

カメラへのログイン

1. **Internet Explorer** を開いてアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。例えばカメラの IP アドレスが **192.168.1.108** の場合の入力は <http://192.168.1.108>
注 Internet Explorer 11 と Firefox 46.0.1（またはそれ以降）のブラウザのみがサポートされています。
2. ログイン画面で、管理者のユーザー名とパスワードを入力して **Login[ログイン]** をクリックします。デフォルトのユーザー名は admin（大文字小文字を区別）で、デフォルトのパスワードは 1234 です。

図 3-1 ログイン画面



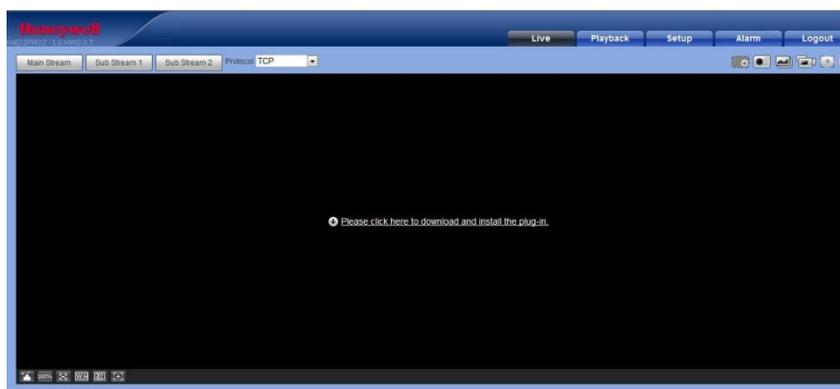
ブラウザプラグインのインストール

初めてログインする場合は、ブラウザプラグインをダウンロードしてインストールするように求められます。画面の指示に従ってプラグインをインストールしてください。インストールが完了すると、Web クライアントは自動的に更新され、ライブビューインターフェースが開きます(図 3-5)。

初めてログインする場合は、次のメッセージが表示されます。

こちらをクリックしてプラグインをダウンロードし、インストールしてください。

図 3-2 初回ログインのメッセージ



1. 「こちらをクリックしてプラグインをダウンロードし、インストールしてください」をクリックします。ファイルを実行するか保存するかを確認するメッセージが表示されます。

図 3-3 プラグインのファイルダウンロードセキュリティ警告メッセージ



2. Run[実行]をクリックします。セキュリティ警告が表示されます。

図 3-4 Internet Explorer - セキュリティ警告



3. **Run**[実行]をクリックしてインストールを始めます。**Ready to Install**[インストールの準備が完了]ウィンドウが表示されます。

4. **Install**[インストール]をクリックします。

プラグインのインストールが完了すると、インストールページが閉じ、Web クライアントにライブビューインターフェースが表示されます (図 3-5)。

ライブビューインターフェースの使用

ライブビューインターフェースには、ライブ動画を監視するためのコントロールとオプションの 4 つの領域があります。

図 3-5 ライブビューインターフェース



1. 動画エンコーダ設定領域 ([動画エンコーダ設定 ページ13](#) 参照)
2. システムメニュー ([システムメニュー ページ15](#) 参照)
3. ライブビューコントロール ツールバー ([ライブビューコントロール ページ15](#) 参照)
4. ライブビューウィンドウ設定ツールバー ([ライブビューウィンドウの構成 ページ17](#) 参照)

動画エンコーダ設定

ライブビューインターフェースの動画エンコーダ設定領域では、ストリームを選択してストリーム プロトコルを設定できます。

図 3-6 動画エンコード設定

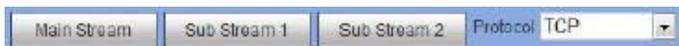


表 3-1 動画エンコード設定

設定	詳細
Main Stream[メインストリーム]	通常のネットワーク帯域幅環境では、メインストリームはオーディオ/動画ファイルを記録し、ネットワークモニタをサポートすることができます。 カメラがサポートしている場合は、メインストリーム解像度を設定します。
Sub Stream 1/Sub Stream 2[サブストリーム 1 サブストリーム 2]	ネットワーク帯域幅が十分でない場合は、サブストリームを使用してネットワークモニタをサポートすることができます。
Protocol[プロトコル]	ストリームメディアプロトコルをドロップダウンリストから選択します。次の 3 つの選択肢があります。 TCP 、 UDP 、 Multicast [マルチキャスト]

システムメニュー

図 3-7 システムメニュー



Web クライアントを使用してカメラにログインすると、デフォルトでライブビューインターフェースが開きます。Playback[再生]、Setup[設定]、および Alarm[アラーム]インターフェースにアクセスするか、またはログアウトするには、システムメニュー領域の対応するタブを選択します。

ライブビューコントロール

ライブビューコントロールツールバーからは、画像を拡大したり、スナップショットを撮ったり、手動で動画を録画することができます。これらのコントロールについては、後の項に詳しい説明が記載されています。

図 3-8 ライブビューウィンドウコントロール



表 3-2 ライブビューウィンドウコントロール

アイコン	コントロール	詳細
	Digital Zoom[デジタルズーム]	ライブビデオを見ながら、マウスの左ボタンをクリックして長押しすると、特定の領域が拡大表示されます。前の倍率に戻るには、マウスを右クリックします。
	Snapshot[スナップショット]	クリックするとスナップショットが撮られ、デフォルトの場所 (\picture download) に JPEG として保存されます。 保存パスを変更するには Path [パス (保存場所)] (ページ 51) を参照するか、 Setup[設定]→Camera[カメラ]→Video[ビデオ]→Path[パス] に移ります。
	Triple Snap[トリプルスナップ]	クリックすると 1fps で 3 つのスナップショットを撮ります。画像はすべて Setup[設定]→Camera[カメラ]→Video[ビデオ]→Path[パス] に保存されます。
	Record[録画]	クリックすると録画が開始されます。動画はすべて Setup[設定]→Camera[カメラ]→Video[動画]→Path[パス] に保存されます。
	ヘルプ	クリックするとヘルプが開きます。

アイコン	コントロール	詳細
	イージーフォーカス	<p>クリックして開きます。プレビューウィンドウで AF Peak[AF ピーク]と AF Max[AF 最大値]の調整を見ることができます。AF Peak[AF ピーク]か AF Max[AF 最大値]を選択します。</p> <p>AF Peak[AF ピーク]: フォーカスするときの動画の鮮明度を表示します。</p> <p>AF Max[AF 最大値]: 動画を最も鮮明に撮影できるフォーカスを表示します。</p> <p>AF Peak[AF ピーク]と AF Max[AF 最大値]の値が近いほど焦点がうまく合います。</p> <p>注 イージーフォーカスは HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/ HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2 カメラのみにて利用できます。</p>

ライブビューウィンドウの構成

ライブビューウィンドウの構成ツールバーからは画面の輝度、コントラスト、色相、または彩度を調整し、画面サイズや縦横比を変更し、画像のなめらかさを調整できます。これらのコントロールについては、後の項に詳しい説明が記載されています。

図 3-9 ライブビューウィンドウ構成ツールバー



表 3-3 ライブビューウィンドウ構成ツール

	画像制御	<p>クリックすると画像調整パネルが開きます。スライダをドラッグして輝度、コントラスト、色相、彩度を設定します。デフォルト設定に戻るにはリセットをクリックしす。</p> <p>これらの設定は Setup[設定]→Camera[カメラ]→Conditions[条件] に移動して調整することもできます。</p> <p>注 画像調整は、Web クライアントインターフェースで表示されている動画にのみ適用されます。</p>
	Original Size[オリジナルサイズ]	<p>クリックすると動画表示が元のサイズに戻ります（ビットストリームの解像度によります）。</p>
	Full Screen[全画面表示]	<p>クリックすると全画面表示モードになります。全画面表示を終了するには Esc を押すかマウスをダブルクリックします。</p>
	Width and Height Ratio[幅と高さの比率]	<p>クリックすると動画表示が元の縦横比（またはウィンドウに適した縦横比）に戻ります。</p>
	Adjust Fluency[なめらかさの調整]	<p>クリックすると、ネットワーク接続に基づいてなめらかさを選択できます。デフォルト設定は Normal[標準] です。ネットワーク接続が遅い場合は Fluent[なめらか] を選択すると、動画をスムーズに見せることができます（ただし画質は低下する可能性があります）。</p>
	Zoom and Focus[ズームとフォーカス]	<p>クリックするとズームとフォーカスパネルが開きます。スライダをドラッグしてズームとフォーカスを調整し、Auto Focus[オートフォーカス]をクリックします。</p> <p>注 このオプションは HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2 のみにて利用できます。</p>

4 動画の再生

この章は、次のモデルにのみ適用されます。

H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2

この章は以下の項で構成されています。

- [はじめに、ページ18](#)
- [録画した動画の再生、ページ19](#)
- [Playback Assistant\[再生アシスタント\]の使用、ページ22](#)
- [ビデオクリップの作成、ページ22](#)
- [スナップショットの表示、ページ23](#)

はじめに

この章では、H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2 カメラで Web クライアントを使用してカメラに記録された動画と保存されたスナップショットを再生する方法、Playback Assistant[再生アシスタント]を使用して録画した動画を再生しながらスナップショットを撮る方法、およびカスタムビデオクリップを作成する方法について説明します。

注

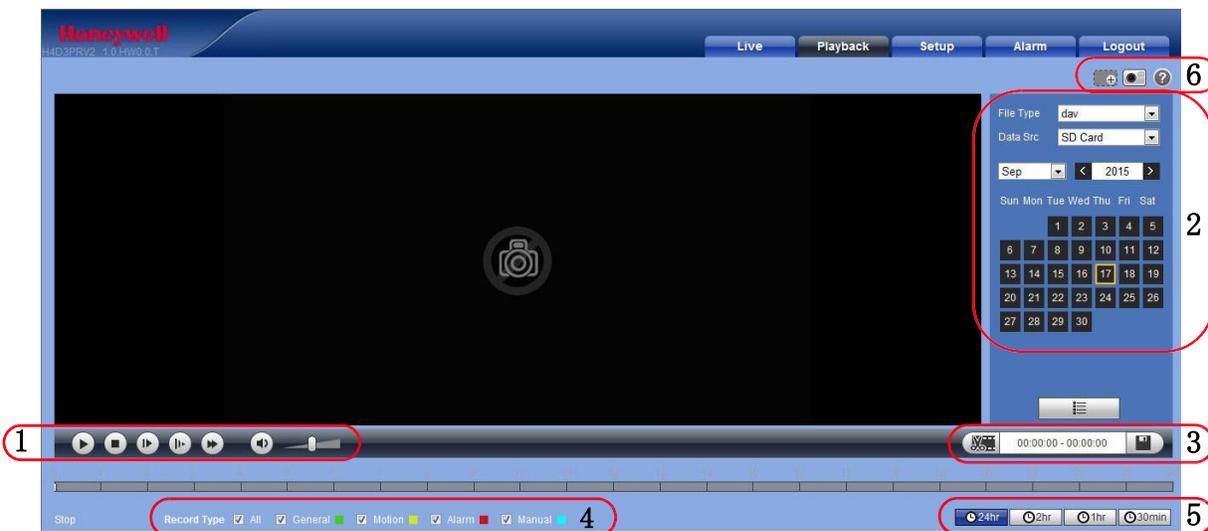
録画したビデオや保存したスナップショットを再生するには、まず **Setup**[設定]メニューでストレージ設定を行う必要があります。[ストレージ設定の構成](#) (ページ 50.) を参照してください。

Playback[再生]タブをクリックして再生インターフェースを表示します。

[再生]インターフェースの概要

再生インターフェースには、再生のためのコントロールと再生オプションの6つの領域があります（[図 4-1](#) 参照）。

図 4-1 再生インターフェース



- 1 再生コントロール（[再生コントロール](#)（ページ19）参照）
- 2 カレンダー領域（[カレンダーからの録画ファイルの再生](#)（ページ20）参照）
- 3 クリップ選択（[ビデオクリップの作成](#)（ページ22）参照）
- 4 録画の種類（[録画タイプによるファイルの検索](#)（ページ21）参照）
- 5 タイムライン構成（[タイムラインの構成](#)（ページ22）参照）
- 6 Playback Assistant[再生アシスタント]（[Playback Assistant\[再生アシスタント\]の使用](#)（ページ22）参照）

録画した動画の再生

再生コントロール

図 4-2 再生コントロール



表 4-1 再生コントロール

コントロール	詳細
ル	

コントロール	詳細
	クリックして動画を再生します。Play[再生]モードでは、このボタンは  から  に変わります。
	クリックすると動画の再生が停止します。
	クリックすると次のフレームに移ります。 注 この機能を使用するには、動画の再生を一時停止する必要があります。
	低速再生
	高速再生
	消音
	音量制御

カレンダーからの録画ファイルの再生

再生カレンダーの青い日付は動画が録画された日を示します。

図 4-3 再生カレンダー



File Type[ファイルタイプ]には、動画の再生では **dav**、スナップショットでは **jpg** を選択します。デフォルトの Data Src[データソース]は **SD Card[SD カード]**です。

録画ファイルの再生

1. 再生インターフェースのカレンダー領域で、オプションを使用して録画を検索します。
 - a. **File Type[ファイルタイプ]**ボックスで **dav** を選択します。
 - b. **Data Src[データソース]** データソースボックスで **[SD カード]**を選択します。
 - c. 検索する月と年を選択します。動画が録画された日付は青で表示されます。

- d. 動画を表示する日付（青）をクリックします。タイムライン（[図4-4](#)）には、その日の録画が色分けされたバーとして表示されます。
- 緑は通常の録画を示します。
 - 黄色は動き検出録画を示します。
 - 赤は警告が出された録画を示します。
 - 青は手動での録画を示します。

図 4-4 録画タイムライン



2. タイムラインをクリックして再生時間を選択します。
3. をクリックして記録されたファイルのリストを開きます。
4. ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始し、ファイルサイズ、開始時刻、終了時刻を確認します。[再生コントロール](#)（ページ 19）を使って動画をレビューします。

図 4-5 再生ファイルの詳細

1 録画された動画を検索する開始時刻と終了時刻を入力し

2 録画タイプを選択します。MP4 はサポートされていないため、**dav** を選択してください。

3 **dav** ファイルをローカルコンピュータにダウンロードするには、ダウンロードボタンをクリックします。

4 カレンダーインターフェースに戻る際にクリックします。

注

再生ファイルインターフェースでは、ローカル PC にファイルをダウンロードすることができます。

録画タイプによるファイルの検索

録画ファイルタイプを選択すると、タイムラインとファイルリストに、特定の録画タイプでフィルタリングされた録画ファイルのみを表示することができます。録画タイプを選択して Playback[再生]ウィンドウに表示することもできます。フィルタは Playback[再生]ウィンドウの一番上にあります。

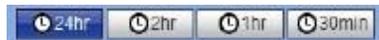
図 4-6 Playback[再生] での録画タイプフィルタ



タイムラインの構成

Playback[再生]では再生時のタイムラインを設定して、過去 24 時間、2 時間、1 時間、または 30 分間の録画動画を表示することができます。クリックして選択します。

図 4-7 再生タイムライン構成



Playback Assistant[再生アシスタント]の使用

Playback Assistant[再生アシスタント]ボタンを使用すると、動画を拡大/縮小したり、スナップショットを撮ったりすることができます。

注 再生アシスタントは次のモデルのみにてサポートされています。
HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2

ズームインとズームアウト

ズームインするには、再生アシスタント領域（[図4-1](#) 参照）で Zoom In[ズームイン] ボタン をクリックし、マウスのスクロールホイールを使用して動画の部分を拡大します。

動画を元のサイズに戻すには、マウスを右クリックします。

スナップショットの撮り方

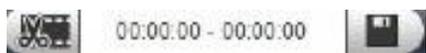
手動でスナップショットを撮るには、動画の再生中に をクリックします。スナップショットは、ローカル PC 上のファイルパスに保存されます。ファイルパスを設定するには [Path](#)[パス（保存場所）]（[ページ 51.](#)）を参照してください。

ビデオクリップの作成

録画された動画の一部は、再生中にクリップ機能を使用して保存することができます。録画された動画の再生は、クリッピング中には自動的に一時停止されます。

注 ビデオクリップの作成機能は、次のモデルのみにてサポートされています。
H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2

図 4-8 クリップ機能のコントロール



1. クリップを作成する録画を探します。
2. タイムラインで、録画でクリップを開始する時間をクリックしてから  クリックします。これによりクリップの開始時間を指定します。
3. 次に、クリップを終了する時間をクリックしてから  クリックします。これによりクリップの終了時間を指定します。
4.  をクリックしてローカル PC にクリップファイルを保存します。保存パスを設定するには、[Path](#)[パス (保存場所)] (ページ 51) を参照してください。

スナップショットの表示

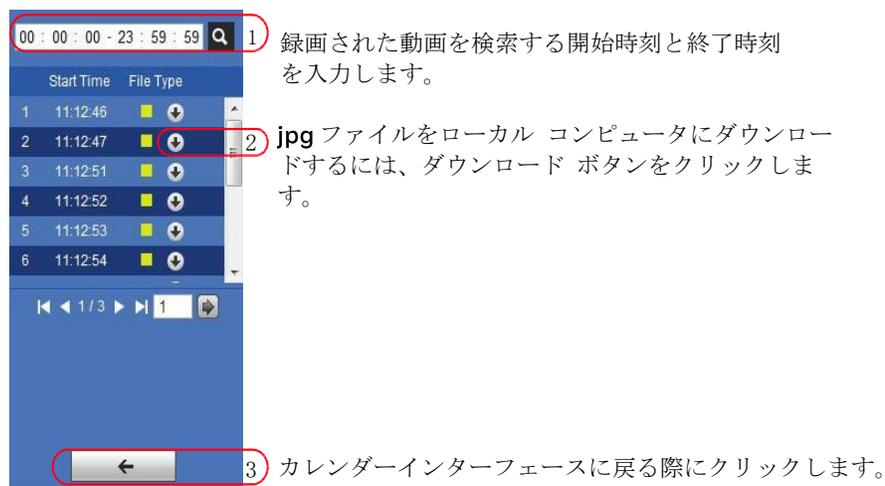
注 スナップショットの表示機能は、次のモデルのみにてサポートされています。
H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2

図 4-9 スナップショット再生コントロールインターフェース



1. 再生インターフェースのカレンダー領域で、以下を行います。
 - a. **File Type**[ファイルタイプ]ボックスで **jpg** を選択します。
 - b. **Data Src**[データソース]**データソース**ボックスで **SD Card**[SD カード]を選択します。
 - c. 検索する月と年を選択します。スナップショットがある日は青色で表示されます。
 - d. スナップショットを表示する日 (青) をクリックします。
2. **Snapshot type**[スナップショットのタイプ]領域では、検索する特定のスナップショットの種類 (**General**[一般]、**Motion**[モーション]、または **Alarm**[アラーム]) を選択して検索結果を絞り込むことができます。
3. カレンダーの下にあるリストボタン  をクリックすると、選ばれた日のスナップショットの一覧が表示されます。

図 4-10 スナップショットの一覧



- 1 録画された動画を検索する開始時刻と終了時刻を入力します。
- 2 jpg ファイルをローカル コンピュータにダウンロードするには、ダウンロード ボタンをクリックします。
- 3 カレンダーインターフェースに戻る際にクリックします。
4. 特定の時間範囲を入力して検索結果をさらに絞り込むことができます。
 5. スナップショットを表示するには、ファイル名（開始時刻）をダブルクリックします。ローカル PC にスナップショットをダウンロードするには、ファイル名の横にあるダウンロードボタンをクリックします。保存パスを設定するには、[Path](#)[パス（保存場所）]（ページ 51）を参照してください。

5 カメラ設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [カメラ設定の構成、ページ25](#)
- [ネットワーク設定の構成、ページ35](#)
- [ストレージ設定の構成、ページ50](#)
- [システム設定の構成、ページ55](#)
- [システム情報の表示、ページ62](#)

カメラ設定の構成

条件

Conditions[条件]タブでは、カメラのプロパティ情報を表示できます。設定は保存された直後に有効になります。

注 Conditions[条件]タブで入手できる設定は、**Profile Management** [プロファイル管理]設定で選択した内容によって異なる場合があります（詳細は、[Profile Management](#)[プロファイル管理]（ページ 28）を参照）。

図 5-1 カメラ設定ウィンドウ

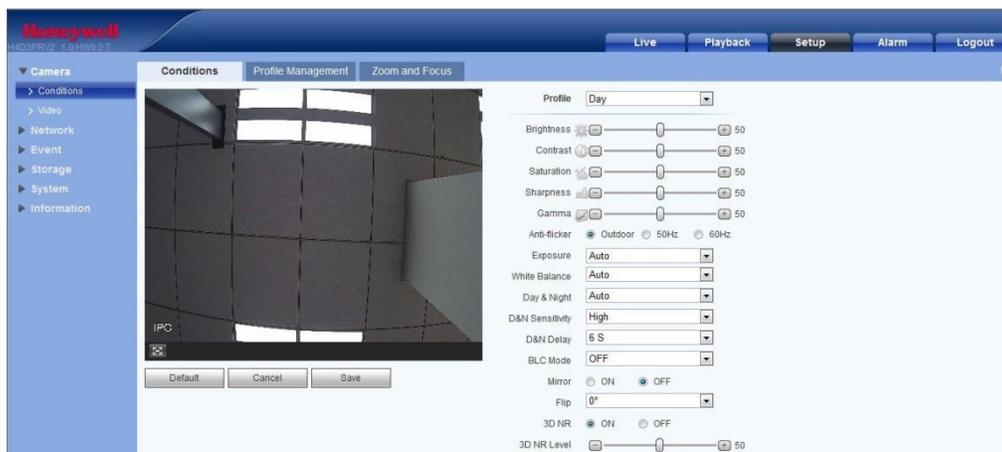


表 5-1 カメラ構成

パラメータ	機能
プロファイル	Normal[標準]、Day[昼間]、Night[夜間]から選択します。
Brightness[輝度]	<p>画像の輝度を調整します。値を大きくすると、動画の輝度が増します。この値の調整は、動画の輝度に影響します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。</p> <p>注意 この値が高すぎると、動画がかすむことがあります。</p>
Contrast[コントラスト]	<p>画像のコントラストを調整します。値を大きくすると、コントラストが増します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。</p> <p>注 この値が低すぎると、動画がかすむことがあります。この値が高すぎると、動画の暗い部分が細部を失い、明るい部分が露出オーバーになる可能性があります。</p>
Saturation[彩度]	<p>画像の彩度を調整します。値を大きくすると、彩度が増加して色が濃くなります。この値は、動画の一般的な輝度には影響しません。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。</p> <p>注 ホワイトバランスがオフの場合、グレーに歪みが表示されることがあります。</p>
Sharpness[鮮明度]	<p>動画の鮮明度を調整します。値を大きくすると、動画の鮮明度が増します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。</p> <p>注 高い値を選択すると、画像にノイズが入ることがあります。</p>
Gamma[ガンマ]	<p>ダイナミックレンジを調整します。値を大きくすると、画像の輝度が非直線的に増加します。0～100の間で選択します。推奨範囲は40～60です。デフォルト値は50です。</p>
Anti-flicker[アンチフリッカー]	<p>Outdoor[屋外]屋外モードでは、任意の露出モードを選択してフリッカーを避けることができます。</p> <p>50Hz: 電源周波数が50Hzの場合、システムは環境の明るさに応じて自動的に露出を調整して、動画の縞模様を防止します。</p> <p>60Hz: 電源周波数が60Hzの場合、システムは環境の明るさに応じて自動的に露出を調整して、動画の縞模様を防止します。</p>
Exposure[露出]	<p>Auto[オート] 動画の輝度は、シーンの照明の変化に応じて自動的に変化します。ゲイン最大値を高くすると、ノイズが少なくなります。</p>
	<p>Low Noise[低ノイズ] 動画全体の輝度は、異なる環境に応じて適切な露出範囲内で自動的に変化することができます。ゲイン最大値が高いほど、ノイズが少なくなります。</p> <p>同一環境では、低ノイズモードのノイズは、オートモードのノイズよりも小さくなければなりません。</p>
	<p>Low Motion Blur[被写体ブレ抑制] 動画全体の輝度は、異なる環境に応じて適切な露出範囲内で自動的に変化することができます。ゲイン最大値が低いほど、画像内の被写体ブレの量は少なくなります。</p> <p>同一環境では、Low Motion Blur[被写体ブレ抑制]モードのノイズは、Auto[オート]モードのノイズよりも少なくなります。</p>
	<p>Manual[マニュアル] 手動露出値を表示します。</p>

パラメータ	機能
White Balance[ホワイトバランス]	<p>White Balance[ホワイトバランス]モードを設定します。これは、動画の一般的な色合いに影響します。この項目はデフォルトで有効になっています。</p> <p>最高品質の動画を実現するには、Auto[オート]、Sunny[晴]、Outdoor[屋外]、Night[夜間]、または Customized[カスタマイズ] などのさまざまなシーンモードを選択します。</p> <p>オート: オートホワイトバランスがオンになっています。システムは自動的に色温度を調整して、動画カラーが正しいことを確認します。</p> <p>Sunny[晴]: ホワイトバランスの閾値は、晴天モードに設定されています。</p> <p>Night[夜間]: ホワイトバランスの閾値は、夜間モードに設定されています。</p> <p>カスタマイズ: 赤/青チャンネルのゲインを手動で設定できます。値は 0~100 の範囲で</p>
Day & Night[昼夜]	<p>カメラのカラーモードと白黒モードを設定します。</p> <p>カラー: カメラは動画をカラーで出力します。</p> <p>オート: カメラは、シーンが一般的に明るい場合や IR イルミネーションが必要な場合など、条件に応じて Color[カラー] から Black & White[白黒] に切り替わります。</p> <p>Black & White[白黒]: カメラは動画を白黒で出力します。</p>
Sensitivity[感度]	<p>カメラが カラー から 白黒 モードに切り替わる際の感度閾値を調整します。 Low[低]、Medium[中] (デフォルト)、または High[高] を選択します。</p> <p>注 Day & Night[昼夜]が Auto[オート] のときだけ利用できます。</p>
Delay[遅延]	<p>カラー から 白黒 モードに切り替えるスイッチの遅延値を調整します。値は 2~10 の範囲です。デフォルト値は 6 です。</p> <p>注 Day & Night[昼夜]が Auto[オート] のときだけ利用できます。</p>
BLC Mode[BLC モード]	<p>OFF[オフ] BLC がオフです。BLC はデフォルトでは無効です。</p> <p>BLC (デフォルトまたはカスタマイズ) カメラは自動的に条件に合うように露出を調整し、動画の最も暗い部分が見えるようにします。デフォルトでは、BLC が景色全体に適用されます。カスタマイズすると、画像の指定部分に BLC を適用することができます。</p> <p>WDR WDR は、最も暗いエリアと最も明るいエリアの両方を同時に明瞭に見ることができるように、最も明るいエリアの輝度を下げて最も暗いエリアの輝度を高めることによって、シーン内の明るさと暗さを調整します。</p> <p>値は、1~100 の範囲です。</p> <p>注 カメラを非 WDR モードから WDR モードに切り替えると、動画に数秒間のギャップが発生することがあります。</p> <p>HLC HLC 機能を有効にすると、カメラは、選択された HLC コントロールレベルに従って、動画の最も明るい部分の輝度を下げることができます。HLC は、ハローの量を減らし、動画画像全体の輝度を低下させることができます。</p> <p>値は、1~100 の範囲です。HLC が有効なときのデフォルト値は 50 です。</p>
Mirror[ミラー]	<p>クリックすると動画が左から右に切り替わります。この項目はデフォルトで有効になっています。</p>

パラメータ	機能
Flip[フリップ]	フリップなし:これがデフォルト設定です。 Flip 180°[180°フリップ]:動画を180°回転します。 Flip 90°[90°フリップ]:動画を90°回転します。 Flip 360°[360°フリップ]:動画を360°回転します。
3D Noise Reduction[3D NR]	この項目はデフォルトで有効になっています。
D NR Level[3D NR Level]	値は、0～100の範囲です。3DNRが有効なときのデフォルト値は50です。
Full-screen Test[全画面テスト]	全画面テストを開始するには、動画ウィンドウの左下にある  ボタンをクリックします。ダブルクリックすると、通常の画面に戻ります。
Default[デフォルト]	クリックすると、カメラがデフォルト設定に戻ります。
Cancel[キャンセル]	クリックすると、現在の操作を取り消し、以前に保存した操作を復元します。
Save[保存]	クリックすると、現在設定されているカスタム設定が保存されます。

Profile Management[プロファイル管理]

図 5-2 プロファイル管理タブ



プロファイル管理には以下の3つのモードがあります。**Normal**[標準]、**Full Time**[フルタイム]、および **Schedule**[スケジュール]

- 動画を通常どおりに設定するには **Normal**[標準]を選択します。
- **フルタイム**を選択した場合は **昼間** か **夜間** の選択が必要です。
- **Schedule**[スケジュール]を選択すると、拘束された時間間隔を設定することができます。

注

動画の設定を変更すると、その変更が動画に与える影響をすぐに見ることができます。ただし、これらの設定を保存して適用するには **Save**[保存]をクリックする必要があります。

Zoom and Focus[ズームとフォーカス]

注 このセクションは HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PR V2/H4W4PRV2 電動フォーカス/ズームカメラにのみ適用されます。

図 5-3 電動ズームとフォーカス

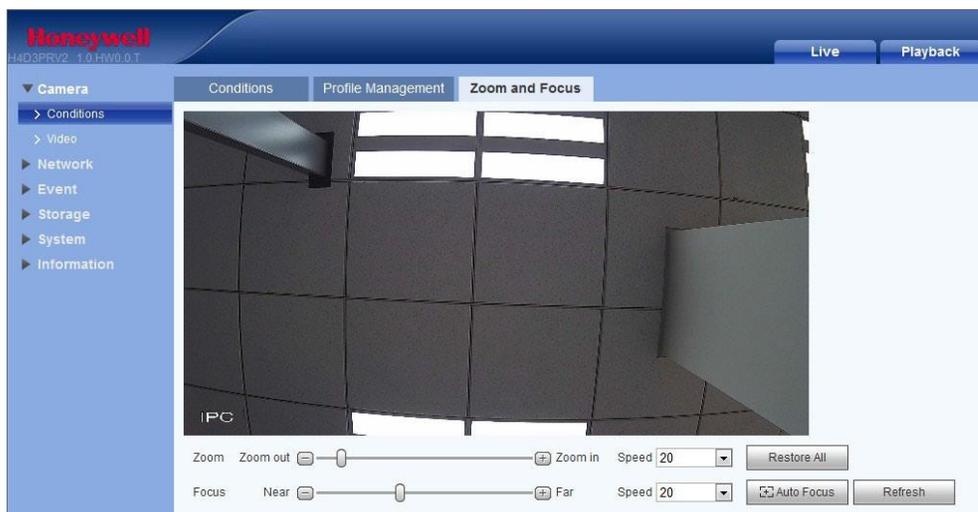


表 5-2 ズームとフォーカス

パラメータ	機能
Zoom[ズーム]	<p>レンズの焦点距離を調整するには "+" をクリックしてズームインするか、 "-" をクリックしてズームアウトします。Speed[速度]設定を変更すると、シングルクリックの増分の長さが調整されます。</p> <p>注 ズームを調整すると、レンズが自動的にピントを合わせます。</p>
Focus[フォーカス]	<p>画像の定義を調整するには、 "+" をクリックして遠くにピントを合わせ、 "-" をクリックして近くにピントを合わせます。Speed[速度]設定を変更すると、シングルクリックの増分の長さが調整されます。</p>
Auto Focus[オートフォーカス]	<p>フォーカスを自動的に調整する場合にクリックします。</p>
Restore All[すべてを復元]	<p>クリックするとレンズが 0 の位置にリセットされます。</p> <p>注 ズームやフォーカスの調整を頻繁に行う場合は、レンズを定期的にもリセットしてください。</p>
Refresh[更新]	<p>画像を更新するのにクリックします。</p>

動画設定

動画 ビットストリーム

図 5-4 動画ビットストリーム構成ウィンドウ



表 5-3 動画ビットストリーム構成

パラメータ	機能
Main Stream[メインストリーム] Code-Stream Type[コーデック] Stream Type[ストリームタイプ]	一般ビットストリーム
Encode Mode[エンコードモード]	Encode Mode[エンコードモード]の4つのオプションから選択します。: H. 264 (メイン プロファイル)、H. 264H (ハイ プロファイル)、H. 264B (ベースライン プロファイル)、および MJPEG モード H. 264: メイン プロファイル エンコードモード H. 264H: ハイ プロファイル エンコードモード H. 264B: ベースライン プロファイル エンコードモード MJPEG: このエンコードモードでは、動画定義を保証するために、動画はより大きなビットストリームを必要とします。Recommended Bit[推奨ビット]の最高ビットストリーム値を使用して、より良い動画出力を得ることができます。
Resolution[解像度]	解像度をドロップダウン リストから選択します。推奨されるビットストリーム値は、解像度ごとに異なります。
Main Stream[メインストリーム] Frame Rate(FPS)[フレーム率]	PAL: 1~25 fps; NTSC: 1~30 fps
Bit Rate Type[ビットレートタイプ]	VBR か CBR を選択します。 注 動画品質は VBR モードで設定できます。
Reference Bit Stream[基準ビットレート]	選択した解像度とフレーム率に従って、Reference Bit Rate[参照ビットレート]値を表示します。

パラメータ	機能
Bit Rate[ビットレート]	VBR では、これは最高ビットレートとなります。CBR では、固定値となります。推奨値については、Reference Bit Stream[参照ビットレート]を参照してください。
I Frame Interval[I フレームインターバル]	I フレーム間の P フレームの数を設定します。値は 25~150 の範囲です。デフォルト値は 50 です。 I Frame Interval[I フレームインターバル] の推奨値は、フレーム率設定の 2 倍です。
Watermark[ウォーターマーク]	この機能を使用すると、動画が改ざんされていないかどうかを検証できます。ウォーターマーク機能を有効にする場合に選択し、ウォーターマークのテキストを入力します。デフォルトのウォーターマーク テキストは DigitalCCTV です。最大長は 85 桁です。数字、文字、アンダースコア () のみで使用できます。
Sub Stream[サブストリーム]	Enable[有効化] Sub Stream 1[サブストリーム 1]か Sub Stream 2[サブストリーム 2]を選択します。 余分なストリームを有効にするには、このチェックボックスをクリックします。デフォルトでは Sub Stream 1 が有効、Sub Stream 2 が無効になっています。
Code-Stream Type[コードストリームタイプ]	一般ビットストリーム (オプションはこれのみです)。
Encode Mode[エンコードモード]	Encode Mode[エンコードモード]の 4 つのオプションから選択します。: H. 264 (メイン プロファイル) 、 H. 264H (ハイ プロファイル) 、 H. 264B (ベースライン プロファイル) 、および MJPEG モード H. 264: メイン プロファイル エンコードモード H. 264H: ハイ プロファイル エンコードモード H. 264B: ベースライン プロファイル エンコードモード MJPEG: このエンコードモードでは、動画定義を保証するために、動画はより大きなビットストリームを必要とします。Recommended Bit[推奨ビット]の最高ビットストリームを使用して、より良い動画出力を得ることができます。
Resolution[解像度]	ドロップダウンリストから解像度を選択します。推奨されるビットストリームは、解像度ごとに異なります。
Frame Rate[フレーム率]	PAL: 1~25 fps; NTSC: 1~30 fps
Bit Rate Type[ビットレートタイプ]	VBR か CBR を選択します。 注 動画品質は VBR モードで選択できます。値は 1~6 の範囲です。
Recommended Bit Rate[推奨ビットレート]	選択した解像度とフレーム率に従った参照ビットレート値です。
Bit Rate[ビットレート]	CBR では、これは最高ビットレートとなります。ダイナミック動画では、現在の帯域幅に適応するためには、システムはより低いフレーム率またはより低い動画品質を必要とします。

パラメータ	機能
I Frame Interval [I フレームインターバル]	I フレーム間の P フレームの数を設定します。値は 25~150 の範囲です。デフォルト値は 50 です。 I Frame Interval [I フレームインターバル] の推奨値は、フレーム率設定の 2 倍です。

Snapshot[スナップショット]

図 5-5 スナップショット構成インターフェース



表 5-4 スナップショット構成

パラメータ	機能
Snapshot Type [スナップショットタイプ]	General [一般] (スケジュール) か Event [イベント] (アクション) を選択します。
Image Size [画像サイズ]	メインストリーム解像度と同じです。
Quality [品質]	6 つのレベルの画質から選択します。
Interval [間隔]	スナップショットの頻度を 1 秒から ~ 7 秒で設定します。
注	スナップショットの保存場所の設定については、ROI (ページ 34) を参照してください。スナップショットは JPEG として保存されます。

Video Overlay[動画重ね表示]

図 5-6 動画重ね表示構成インターフェース



表 5-5 動画重ね表示設定

パラメータ	機能
Privacy Mask[プライバシーマスク]	プライバシーのために動画の一部の領域を隠します。 最大4つのプライバシーマスクゾーンを設定できます。
Channel Title[チャンネルタイトル]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウにチャンネル情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、チャンネルのタイトルを目的の位置にドラッグします。
Time Title[時刻タイトル]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウに時間情報が重ねて表示されます。マウスを使用して、時間を目的の位置にドラッグします。
Text Overlay[テキスト重ね表示]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウにテキストが重ねて表示されます。 Input [入力]フィールドにオーバーレイするテキストを入力し、ドロップダウンメニューから Right [右]または Left [左]揃えを選択します。
Picture Overlay[ピクチャ重ね表示]	この機能を有効にすると、動画ウィンドウに画像が重ねて表示されます。 Upload [アップロード]をクリックして重ねて表示する画像を選択します。

ROI

図 5-7 ROI インターフェース

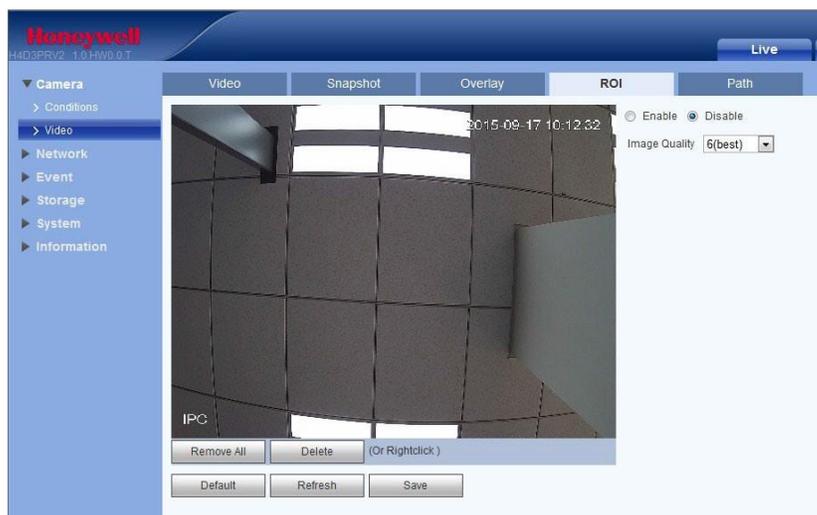


表 5-6 ROI 設定

パラメータ	機能
Enable/Disable[有効/無効]	Region of Interest (ROI) 機能を有効または無効にします。
Image Quality[画質]	region of interest に必要な画質を選択します。

Path[パス (保存場所)]

注 Playback Snapshot[スナップショットの再生]、Playback Download[再生ダウンロード] および Video Clips[ビデオクリップ] は、H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2 カメラのみにて使用できます。

図 5-8 ストレージパスインターフェース



スナップショット（ライブインターフェースでは ）や録画された動画（ライブインターフェースでは ）のストレージパスを設定します。スナップショットのデフォルトの保存場所は **C:\Honeywell Video Systems\LiveSnapshot** です。録画された動画のデフォルトの保存場所は **C:\Honeywell Video Systems\LiveRecord** です。

Save[保存]をクリックして、ストレージパスの変更を保存します。

ネットワーク設定の構成

TCP/IP

図 5-9 TCP/IP インターフェース

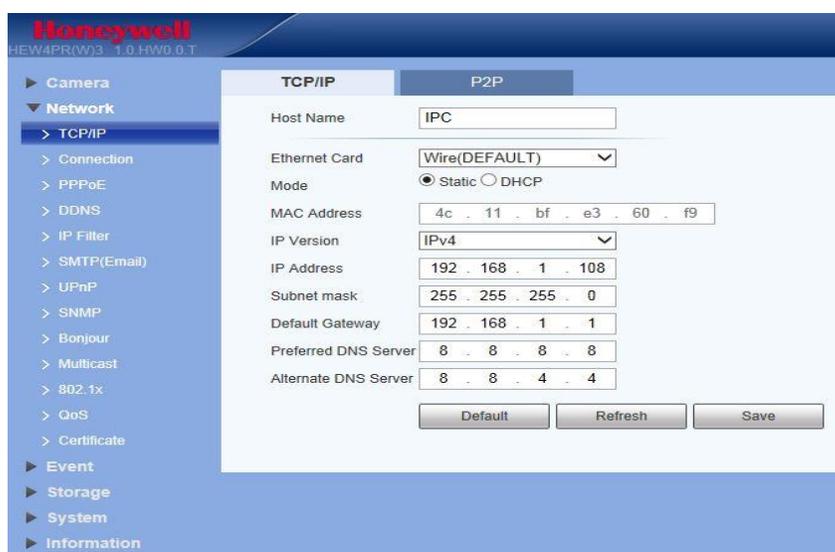


表 5-7 TCP/IP 設定

パラメータ	機能
Host Name[ホスト名]	現在のホストカメラの名前を設定するように構成します。最大 32 文字。
Ethernet Card[イーサネットカード]	イーサネットポートを選択します。デフォルトは wire LAN [有線 LAN] です。 注 これらの設定を変更した場合は、新しい設定を有効にするためにカメラを再起動する必要があります。

パラメータ	機能
	<p>Static[静的]または DHCP モードを選択します。</p> <p>DHCP モードを選択して IP アドレスを自動的に検索する場合は、IP Address[IP アドレス]、Subnet mask[サブネットマスク]、および Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]フィールドは使用できません。</p>
Mode[モード]	<p>静的モードが選択された場合は、IP アドレス、サブネットマスクおよび デフォルトゲートウェイを手動で割り当てる必要があります。</p> <p>DHCP モードが選択された場合は、IP アドレス、サブネットマスク、および デフォルトゲートウェイ は自動的に割り当てられます。</p> <p>注 PPPoE が有効な場合は、IP アドレス、サブネットマスク、DHCP、デフォルトゲートウェイ は読み込み専用です。</p>
MAC Address[MAC アドレス]	MAC アドレスを表示します。
IP Version[IP バージョン]	使用する IP バージョンを選択します。IPv4 または IPv6
IP アドレス	If 静的モードが選択された場合は、 IP アドレス 、 サブネットマスク デフォルトゲートウェイ の値を入力します。
Preferred DNS Server[優先 DNS サーバー]	優先される DNS サーバー IP アドレスを入力します。
Alternate DNS Server[代替 DNS サーバー]	代替 DNS サーバー IP アドレスを入力します。
Enable ARP/Ping to set IP Address Service[IP アドレスサービスを設定するために ARP/Ping を有効化]	<p>カメラの MAC アドレスが分かっている場合は、ARP/Ping コマンドを使用してカメラの IP アドレスを変更または設定します。</p> <p>カメラを操作する前に、ネットワークカメラと PC が同じ LAN に接続されていることを確認してください。この項目はデフォルトで有効になっています。</p> <p>IP アドレスサービスを設定するために ARP/Ping を有効にするには下記を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IP アドレスを取得します。ネットワークカメラと PC を同じ LAN に設置します。 2. ネットワークカメラのラベルから物理アドレスを取得します。 3. Run[実行]インターフェース (Start[開始]メニュー > Run[実行]) を開いて、以下のコマンドを入力します。 <pre>arp -s <IP Address> <MAC> ping -l 480 -t <IP Address></pre> <p>例:</p> <pre>arp -s 192.168.0.125 11-40-8c-18-10-11 ping -l 480 -t 192.168.0.125</pre> 4. カメラを再起動します。設定が成功した場合には、Reply from 192.168.0.125...といった情報がコマンド出力行に表示されます。 5. コマンドラインを閉じます。 ブラウザを開いてアドレスバーに http://<IP address> を入力して Enter キーを押します。

P2P

図 5-10 P2P 構成インターフェース



表 5-8 P2P 構成

パラメータ	機能
Enable[有効化]	HonView Touch アプリケーションを使用してカメラにアクセスする場合は、チェックボックスをクリックします。
Status[ステータス]	カメラの接続状態を表示します。
S/N	カメラのシリアル番号を表示します。
QR Code[QRコード]	モバイルデバイスに HonView Touch アプリがインストールされている場合、この QR コードをスキャンしてカメラを追加することができます。追加後、アプリでライブ動画を表示したりカメラを設定したりすることができます。

接続

図 5-11 接続構成インターフェース

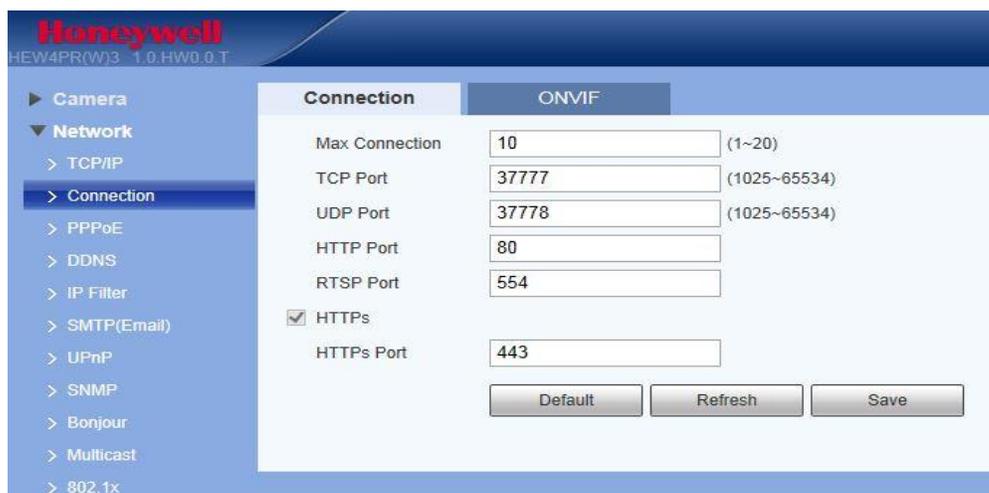


表 5-9 接続構成

パラメータ	機能
Max Connection[最大接続数]	同じカメラのネットワークの最大接続数を表示します。値は1~20の範囲です。最大接続数は20です。
TCP Port[TCPポート]	デフォルト設定は 37777 です。この設定は必要に応じて変更できます。
UDP Port[UDPポート]	デフォルト設定は 37778 です。この設定は必要に応じて変更できます。
HTTP Port[HTTPポート]	デフォルト設定は 80 です。この設定は必要に応じて変更できます。
RTSP Port[RTSPポート]	<p>デフォルト設定は554です。RTSPストリームのクエリ形式は次のとおりです。</p> <p>Main stream[メインストリーム] : rtsp://username:password@ip:port/cam/realmonitor?channel=1&subtype=0</p> <p>サブストリーム: rtsp://username:password@ip:port/cam/realmonitor?channel=1&subtype=1</p> <p>次の4つの項目を手動で入力する必要があります。 Username[ユーザー名]、Password[パスワード]、IP、およびPort[ポート]</p> <p>IP: カメラのIPアドレス</p> <p>ポート: デフォルトは554です。デフォルト値を使用する場合は、このフィールドは空白のままにすることができます。</p> <p>標準のRTPプロトコルに従ってください。エンコードモードがMJPEGの場合、サポートされる最大解像度は2040×2040です。</p>
HTTPS	HTTPS はデフォルトでは有効です。HTTPS を無効化するには、チェックボックスのチェックを外します。
HTTPS ポート	デフォルト設定は 443 です。

ONVIF

ONVIF (Open Network Video Interface Forum) は、IP ベースのセキュリティ製品のインターフェースのためのグローバルなオープンスタンダードで、その範囲はネットワークビデオモード、インターフェース、データタイプ、およびデータインタラクションモードに及びます。ONVIF 仕様は、製造元に関係ないネットワークビデオ製品の相互運用性を目指しています。

ONVIF のデフォルト設定は有効です。

- ONVIF を有効にするには、**ONVIF** タブで **Enable**[有効化]をクリックします。
- ONVIF を無効にするには、**ONVIF** タブで **Disable**[無効化]をクリックします。

PPPoE

図 5-12 PPPoE 構成インターフェース



1. PPPoE を有効にするには、**Enable** チェックボックスを選択して、インターネットサービスプロバイダ(ISP)から受け取った PPPoE ユーザー名とパスワードを入力します。
2. **Save**[保存]をクリックして現在の設定を保存し、カメラを再起動してこの新しい設定を有効にします。カメラは再起動後に PPPoE 経由でインターネットに接続します。

DDNS ドメイン名を使用して Web クライアントにアクセスできます ([DDNS](#) (ページ 40) を参照)。
HonView Touch アプリを使ってカメラにアクセスするためには、P2P は有効でなければなりません ([P2P](#) (ページ 37)) を参照。

注 PPPoE が有効になっている場合は、PPPoE を干渉しないように UPnP を無効にします。

DDNS

DDNS の手動設定

図 5-13 DDNS 構成インターフェース

DDNS を設定するには、対応するサービス Web サイトにアクセスしてドメイン名を適用し、そのドメインを介してシステムにアクセスします。これは IP アドレスが変更された場合でも動作します。

表 5-10 DDNS 構成

パラメータ	機能
Server Type[サーバーのタイプ]	DDNSを有効にするには、ボックスにチェックを入れて、ドロップダウンリストからサーバーを選択します。
Server Address[サーバーアドレス]	DDNS サーバーIP アドレスです。
Domain Name[ドメイン名]	お客様が定義するドメイン名です。
Username[ユーザー名]	サーバーにログインするために入力するユーザー名です。
Password[パスワード]	サーバーにログインするために入力するパスワードです。
Update Period[更新期間]	カメラが定期的にライブ信号（ハートビート）をサーバーに送信する頻度です。カメラと DDNS サーバーの通信間隔をここで設定できます。

Honeywell DDNS を使った DDNS の設定

図 5-14 Honeywell DDNS を使った DDNS の設定



DDNS を Honeywell DDNS サーバーに接続するように設定し、サーバーを介してシステムにアクセスできるようにします。

表 5-11 Honeywell DDNS 構成

パラメータ	機能
Server Type[サーバーのタイプ]	DDNS を有効にするには、ボックスにチェックを入れて、ドロップダウンリストから Honeywell DDNS サーバーを選択します。
Server Address[サーバーアドレス]	デフォルトサーバーアドレスは www.hennvr-ddns.com 。
Mode[モード]	Auto[自動]か Manual[手動]を選びます。デフォルトは Auto[自動]です。Manual[手動]を選んだ場合はドメイン名を入力しなければなりません。
Domain Name[ドメイン名]	自動ドメイン名と自己定義ドメイン名はどちらも MAC アドレス.hennvr-ddns.com の形式に従います。プリフィックスはお客様によって定義することができます。
Username[ユーザー名]	必要に応じて、サーバーにログインするために使用するユーザー名を入力します。

IP Filter[IP フィルタ]

カメラアクセスを特定の IP/MAC アドレスに制限するには、IP フィルタを有効にします。IP アドレスまたは IP アドレスセグメント（192.168.1.1～192.168.1.100 など）を指定できます。Trusted Sites[信頼済みサイト]を有効にするボックスにチェックを入れない限り、アクセス制限はありません。

図 5-15 IP フィルタ構成インターフェース



IP フィルタを有効にするには下記を行います。

1. Add IP/MAC[IP/MAC を追加]をクリックして許可したい IP アドレスまたは IP アドレスセグメントを入力し、**Save[保存]**をクリックします。
2. **Trusted Sites[信頼済みサイト]**チェックボックスをオンにします。

注

信頼済み IP/MAC アドレスは **Trusted Sites[信頼済みサイト]**を有効にする前に追加されなければなりません。

注

ここで MAC アドレスの制限を指定する場合、指定された MAC アドレスを持つコンピュータは、IP カメラと同じネットワークサブネットに存在する必要があります。



注意 IP フィルタ/信頼済みサイトのオプションを設定して、カメラへのアクセスが許可されている IP / MAC アドレスを忘れた場合は、問題を修復するためにカメラを工場に戻す必要があります。

SMTP(E メール)

図 5-16 SMTP 構成インターフェース

The screenshot shows the Honeywell camera's web interface for configuring SMTP settings. The left sidebar has a tree view with 'SMTP(Eメール)' selected. The main area contains the following fields and controls:

- SMTP Server:** Text input field with 'none'.
- Port:** Text input field with '25'.
- Anonymity:** Checked checkbox.
- Username:** Text input field with 'anonymity'.
- Password:** Text input field with masked characters '••••'.
- Sender:** Text input field with 'none'.
- Authentication:** Dropdown menu set to 'None'.
- Title:** Text input field with 'IPC Message' and a checked 'Attachment' checkbox.
- Mail Receiver:** Text input field with '+' and '-' buttons.
- Interval:** Text input field with '0' and 'Second (0~3600)' label.
- Health Mail:** Checked checkbox.
- Update Period:** Text input field with '60' and 'Second (1~3600)' label.
- Buttons:** 'Email Test', 'Default', 'Refresh', and 'Save'.

表 5-12 SMTP (E メール) 構成

パラメータ	機能
SMTP Server[SMTP サーバー]	サーバーアドレスを入力します。
Port[ポート]	デフォルト設定は 25 です。この設定は必要に応じて変更できます。
Anonymity[匿名]	サーバーの匿名機能をサポートします。自動的に匿名でログインできます。ユーザー名、パスワード、送信者情報を入力する必要はありません。
Username[ユーザー名]	送信者の Eメールのユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	送信者の Eメールのパスワードを入力します。
Sender[送信者]	送信者の Eメールアドレスを入力します。 </4119>
Authentication Enable[認証有効化]	これが暗号化モードです。SSL、TLS、または None[無し]を選択します。
Title[件名]	Eメールの件名を入力します。
Attachment[添付ファイル]	ボックスにチェックを入れると、システムは Eメールでスナップショットを送信します。
Mail Receiver[メール受信者]	受信者の Eメールアドレスを入力します。最大 3つのアドレスを入力できます。

パラメータ	機能
Interval[間隔]	<p>送信間隔は 0~3600 秒で設定できます。0 秒は、間隔がないことを意味します。</p> <p>アラームが発生した場合、システムが E メールを即時に送信することはありません。アラーム、動き検出またはその他の事象により E メールが有効化された場合、ここで指定した間隔に従って、システムから E メールが送信されます。これにより、複数の E メールが同時に送信されたときの E メールサーバーの負荷が軽減されます。</p>
Health mail[ヘルスメール]の有効化	<p>この機能を有効化するには、ボックスにチェックを入れます。</p>
Update Period[更新期間] (間隔)	<p>この機能を使用すると、接続に問題がないかどうかを確認するテストメールを送信できます。</p> <p>ボックスにチェックを入れてこの機能を有効化し、対応する間隔を設定してください。</p> <p>システムが定期的なスケジュールされた E メールを送信するように、更新期間を設定することができます。</p>
E メールテスト	<p>システムは自動的に接続をテストするための E メールを送信します。</p> <p>E メールテストを行う前に、E メール設定情報を保存する必要があります。</p>

UPnP

UPnP を使用すると、LAN とパブリックネットワーク間のマッピング関係を確立できます。UPnP 構成インターフェースでは、UPnP 項目を追加、変更、または削除できます。

図 5-17 UPnP 構成インターフェース



Windows での UPnP の有効化

Windows で UPnP が有効になっている場合、カメラを **My Network Places**.[マイネットワーク]から自動的に検出できます。

注

Windows 7 システムでは、UPnP はデフォルトで有効になっています。この手順は Windows XP に適用されます。

1. スタート→コントロールパネル→プログラムの追加と削除 にアクセスしてください。
2. プログラムの追加と削除をクリックして、Windows コンポーネント ウィザードからネットワークサービスを選びます。
3. 詳細をクリックして、インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアントの制御および UPnP ユーザーインターフェースを選択するためにクリックします。
4. OK をクリックしてインストールを始めます。

SNMP

カメラは SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）を使用して設定できます。

図 5-18 SNMP 構成インターフェース

表 5-13 SNMP 構成

パラメータ	機能
SNMP バージョン	<p>SNMP v1 が選択されている場合、デバイスは SNMP v1 情報のみを処理できます。</p> <p>SNMP v2 が選択されている場合、デバイスは SNMP v2 情報のみを処理できます。</p> <p>SNMP v3 が選択されている場合、ユーザー名、パスワード、認証タイプが設定できます。</p> <p>デバイスにアクセスするには、サーバーが対応する管理システムアカウントを設定する必要があります。セキュリティ上の理由から、SNMP v1 と SNMP v2 は両方とも無効です。</p>
SNMP Port[SNMP ポート]	これは、デバイス内のプロキシアプリケーションのリスニングポートです。デフォルト値は 161 です。ポート値は、1～65535 の範囲です。
Read Community[読み取りコミュニティ]	コミュニティ文字列は、指定された名前ですべてのオブジェクトを読み取ります。デフォルト設定は公開です。
Write Community[書き込みコミュニティ]	コミュニティ文字列は、指定された名前ですべてのオブジェクトの読み取り/書き込み/アクセスを行います。デフォルト設定は書き込みです。

パラメータ	機能
Trap Address[トラップアドレス]	デバイスのプロキシプログラムからのトラップ情報の宛先アドレスです。

Bonjour

Bonjour は Apple のマルチキャスト DNS サービスに基づいています。それは自動的にそのサービス情報を放送し、他のカメラからのカメラ情報を聞くことができます。

図 5-19 Bonjour 構成インターフェース



IP アドレスなどのネットワークカメラの情報がわからない場合は、同じ LAN 上の Bonjour ブラウザを使用してネットワークカメラを検索してアクセスできます。Bonjour がネットワークカメラを検出すると、サーバー名が表示されます。

1. ブラウザで **Display All Bookmarks**[すべてのブックマークを表示] をクリックします。
2. **Bonjour** を開きます。システムは LAN 上の Bonjour を介してネットワークカメラを自動的に検出するはずですが。

Multicast[マルチキャスト]

マルチキャストはデータパケットの伝送モードです。同じデータパケットを受信するホストが 2 つ以上存在する場合、複数のキャスト (マルチキャスト) はネットワーク帯域と CPU の負荷を減らすための最良の選択肢です。送信元ホストはデータパケットを 1 つだけ送信できます。この機能は、グループメンバーとルーターのグループとの関係によって異なります。

Multicast[マルチキャスト]構成インターフェースでは、マルチキャストのアドレスとポートを設定できます。

注 プロトコルを **Multicast**[マルチキャスト]に設定するには、**Live**[ライブ]インターフェースに移動する必要があります。 [動画エンコーダ設定](#) (ページ 13) の Protocol (プロトコル) を参照してください。

図 5-20 マルチキャスト構成インターフェース



表 5-14 マルチキャスト構成

パラメータ	機能
Enable[有効化]	マルチキャスト機能を有効化するには、ボックスにチェックを入れます。 注 メインストリームとサブストリームを同時に使用することはできません。
Multicast Address[マルチキャストアドレス]	メイン/サブストリームマルチキャストアドレスは 239.255.42.42 で範囲は 224.0.0.0 – 239.255.255.255 です。
Port[ポート]	Multicast port.[マルチキャストポート]メインストリームは 36666 、サブストリームは 36667 、範囲は 1025 – 65534 です。

IEEE802.1X

IEEE802.1X は、ローカルおよびメトロポリタンエリアネットワークのアクセス制御および認証プロトコルで、ポートベースのネットワークアクセス制御プロトコルを使用して、許可されていないユーザーおよび/またはデバイスへの LAN へのアクセスを制限します。

IEEE802.1X では、クライアントは LAN にアクセスするための認証の仕組みを手動で選択できます。IEEE802.1X は次の機能をサポートしています。

- 認証
- 手数料の計算
- セキュリティの確保
- 要件の維持

図 5-21 802.1X 構成インターフェース



表 5-15 802.1X 構成

パラメータ	機能
認証	PEAP (保護された EAP プロトコル)
Username[ユーザー名]	ユーザー名を入力してログインします。このユーザー名はサーバーによって認証されます。
Password[パスワード]	パスワードを入力します。

QoS

Quality of Service (QoS) はネットワークセキュリティメカニズムで、ネットワークの遅延や故障の問題を修正します。ネットワークサービスの場合、サービス品質には、伝送帯域幅、遅延、およびパケット損失などが含まれます。QoS を使用すると、パケットの優先順位付けによって伝送帯域幅を保証し、遅延を減らし、データパケットの損失を減らし、伝送品質を向上させることができます。

図 5-22 QoS 構成インターフェース



表 5-16 QoS 構成

パラメータ	機能
Realtime Monitor[リアルタイム監視]	値は、0～63 の範囲です。ルータまたはスイッチは、異なるパケットに対して異なるサービスを提供することができます。
コマンド	値は、0～63 の範囲です。ルータまたはスイッチは、異なるパケットに対して異なるサービスを提供することができます。

Certificate[証明書]

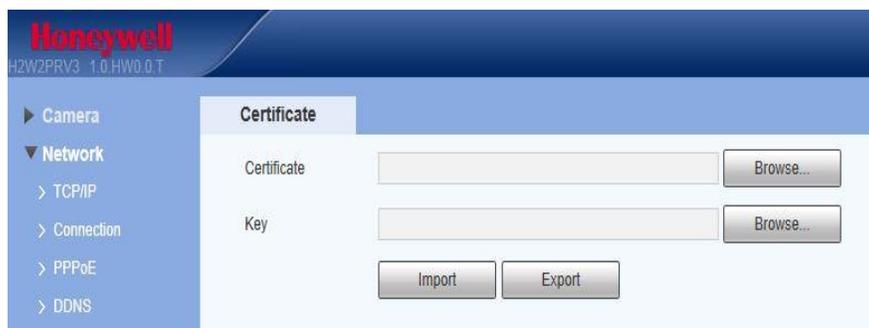
カメラは、訪問した Web サイトとサーバーの ID を確認し、クライアントとサーバー間で交換されるデータを暗号化する安全な通信プロトコルである HTTPS を使用します。カメラの Web クライアントに初めてログインすると、一部のブラウザより接続がプライベート/セキュアではないという警告が表示されることがあります。Web クライアントにアクセスするには、Honeywell が署名したセキュリティ証明書をインストールする必要があります。

セキュリティ証明書のインストールには、一連の 3 つのステップが必要です。

- ログイン（該当する場合はセキュリティ例外を設定）
- ルート証明書をダウンロード
- ルート証明書をインストール

詳細は [パフォーマンス シリーズ IP カメラ証明書インストールガイド](#)を参照してください。

図 5-23 証明書構成インターフェース



ストレージ設定の構成

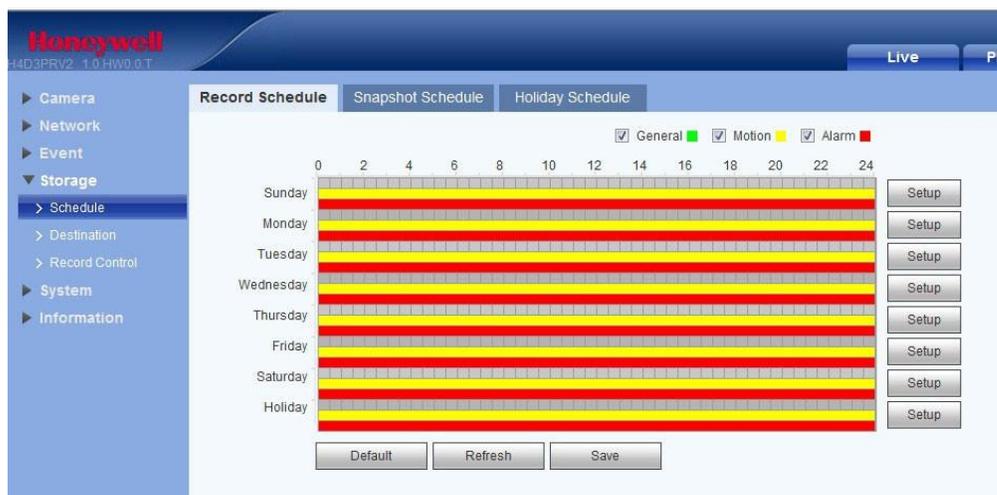
スケジュールとスナップショットスケジュールの記録

スケジュールおよびスナップショットスケジュールの記録を追加または削除できます。録画モードには次の3つのタイプがあります。**General**[通常]（自動）、**Motion**[モーション]、および**Alarm**[アラーム]1日あたり最大9つの録画時間を設定できます。

注 対応する録画モードを
Setup[設定]→Storage[ストレージ]→Conditions[条件]で有効にしたことを確認してください。

Alarm[アラーム] 録画モードは、次のモデルのみにてサポートされています。
H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2

図 5-24 録画スケジュール構成インターフェース



録画スケジュールカラーコード

- 緑：通常の録画/スナップショット
- 黄色：動き検出録画/スナップショット
- 赤：アラーム録画/スナップショット

休日の設定

記録スケジュールが異なる特定の日を、休日として設定することができます。有効にすると、選択/設定された日付は休日設定に従って記録されます。

図 5-25 Holiday Schedule[休日スケジュール]



Destination[送信先]

Path[パス]

Path[パス]タブでは、録画した動画ファイルまたはスナップショットが保存される場所を割り当てることができます。カメラのモデルによっては、録画した動画やスナップショットをマイクロSDカード、FTPサーバ、NASディスクに保存することができます。

また、Schedule[スケジュール]インターフェース（通常、モーション、アラーム）の3つの記録モードに対応するイベントタイプ（スケジュール、モーション検知、アラーム）に従って、録画された動画ファイルとスナップショットを保存するようにシステムを設定することもできます。

図 5-26 パス構成インターフェース



表 5-17 パス構成

パラメータ	機能
イベントタイプ	Scheduled[スケジュール]、Motion Detect[動き検出]、または Alarm[アラーム]を選択します。
Local[ローカル]	ファイルをマイクロ SD カードに保存する場合に選択します。
FTP	ファイルを FTP サーバーに保存する場合に選択します。
NAS	ファイルを NAS ディスクに保存する場合に選択します。

Local[ローカル]

Local[ローカル]タブでは、ローカルのマイクロ SD カードや NAS ディスクの情報を表示できます。Read Only[読み取りのみ]、Read & Write[読み取り&書き込み]、Hot Swap[ホットスワップ]、および Format[フォーマット]機能にもアクセスできます。

注 この機能は、次のモデルでのみサポートされています。
H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2

図 5-27 ローカル記憶装置構成インターフェース



FTP

FTP タブでは、FTP 記憶装置機能を有効にできます。有効にすると、イベントトリガーの動画とスナップショット (図 5-26 で何が選択されたかによってスケジュールまたは動き検出のいずれか) が指定した FTP サーバーに保存されます。

図 5-28 FTP 構成インターフェース

表 5-18 FTP 構成

パラメータ	機能
サーバーアドレス	FTP サーバーの IP アドレスを入力します。
Port[ポート]	デフォルト設定は 21 です。この設定は必要に応じて変更できます。
User Name[ユーザー名]	サーバーのユーザー名を入力します。
Password[パスワード]	サーバーのパスワードを入力します。
Remote Directory[リモートディレクトリ]	録画・撮影された動画とスナップショットが保存されるディレクトリの名前を作成します。
Emergency (Local)[緊急(ローカル)]	FTPへのネットワーク接続が利用できないときにローカルのマイクロSDカードに保存するために Emergency (Local) [緊急(ローカル)]を有効にします。 注 この機能は、次のモデルのみにてサポートされています。 H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/ H4W4PRV2.

NAS

図 5-29 NAS 構成インターフェース

表 5-19 NAS 構成

パラメータ	機能
Server Address[サーバーアドレス]	サーバーの IP アドレスを入力します。
Remote Directory[リモートディレクトリ]	録画・撮影された動画とスナップショットが保存されるディレクトリを指定します。

Record Control[レコードコントロール]

図 5-30 レコードコントロール構成インターフェース



表 5-20 レコードコントロール構成

パラメータ	機能
Pack Duration[パック期間]	ファイルサイズを選択します。デフォルトは 8 分 です。
Pre-event Record[イベント前録画]	Pre-record[事前録画]値を入力します。 たとえば、4 を入力すると、システムは 4 秒分の動画をバッファに録画できます。録画はイベントトリガーの 5 秒前に開始されます。
Disk Full[ディスク満杯]	HDD がいっぱいの場合に Stop Recording [録画を停止]か前のファイルの Overwrite [上書き] を選択します。 Overwrite [上書き]：現在の HDD がいっぱいになると、システムは前のファイルを上書きします。 Stop [停止]：現在の HDD がいっぱいになると、システムは録画を停止します。
Record Mode[録画モード]	Auto[自動]、Manual[手動]、または Off[なし]を選択します。
Record Stream[レコードストリーム]	Main Stream[メインストリーム]、Sub Stream 1[サブストリーム 1]または Sub Stream 2[サブストリーム 2]を選択します。

システム設定の構成

一般システム設定

一般インターフェースには、ローカルホストの設定（カメラ名と GUI 言語を含む）と日付/時刻の設定が含まれます。

General[一般]

図 5-31 一般システム構成インターフェース



表 5-21 一般システム構成

パラメータ	機能
Device Name[デバイス名]	カメラ名を入力します。
Language[言語]	ドロップダウンリストから言語を選択します。
Video Standard[ビデオ規格]	ビデオ規格を選択します。NTSC または PAL

Date and Time[日付&時刻]

図 5-32 日付&時刻構成インターフェース

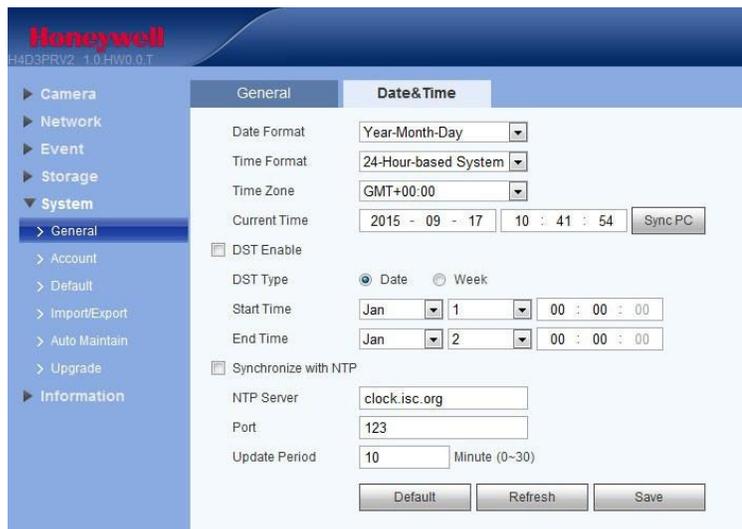


表 5-22 日付&時刻構成

パラメータ	機能
Date Format[日付形式]	ドロップダウンリストから日付形式を選択します。
Time Format[時刻形式]	時刻形式を 24-hour[24 時間] または 12-hour[12 時間] から選択します。
Time Zone[タイムゾーン]	カメラのタイムゾーンを選択します。
Current Time[現在時刻]	システム時刻を設定します。この時刻を有効にするには Save[保存] をクリックします。
Sync PC[PC の同期]	クリックすると、カメラの時刻とパソコンの時刻が同期します。
DST	夏時間の開始と終了を設定します。 Date[日付] または Week[週] を選択します。
NTP	クリックすると、Network Time Protocol (NTP) サーバーとの同期が有効になります。
NTP Server[NTP サーバー]	NTP サーバーを設定します。
Port[ポート]	NTP サーバー用のポートを設定します。
Update Period[更新期間]	カメラとNTPサーバ間の同期期間を設定します。

アカウント設定

システムは、ユーザー名またはユーザーグループ名で最大 15 文字をサポートします。ユーザー名またはグループ名には、文字、数字、アンダースコア (_) を使用できます。

最大 18 人のユーザーと 8 つのグループ（工場出荷時のデフォルト設定）を設定できます。工場出荷時の設定には、次の 2 つのユーザーレベルがあります。User[ユーザー]および admin[管理者]（大文字と小文字を区別）

グループを設定するときには、そのグループの権限を設定できます。グループ内の個人にも権限を設定することができます。

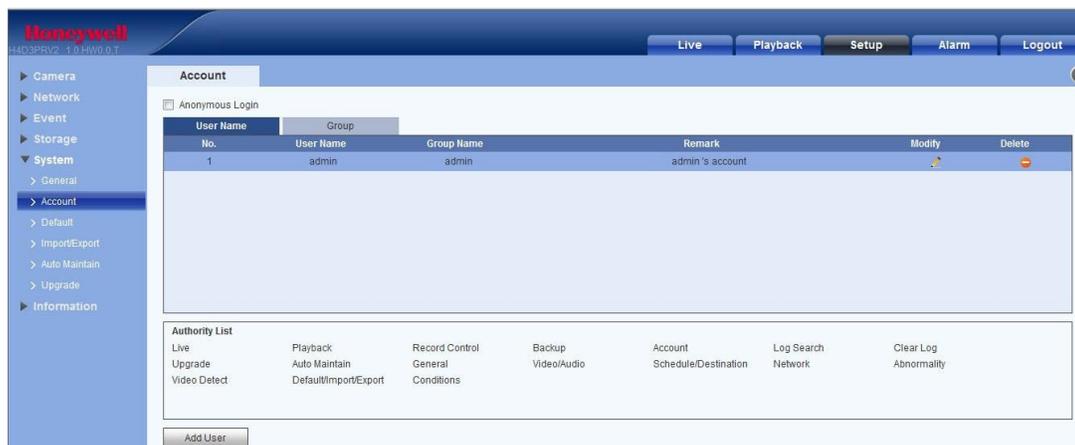
注

ユーザー管理はグループ/ユーザーモードを採用しています。ユーザー名とグループ名は一意である必要があります。ユーザーは一度に 1 つのグループのみ含めることができます。

User Name[ユーザー名]

Username Configuration[ユーザー名設定]インターフェースでは、匿名ログインを有効にしたり、ユーザーを追加/削除したり、ユーザー名を変更することができます。

図 5-33 ユーザー名構成インターフェース



Enable Anonymous Login[匿名ログインの有効化]: クリックすると有効になります。IP を入力すると、ユーザー名やパスワードは必要なくなります。匿名で（限られた権利で）ログインできます。匿名セッションを終了するには **Logout[ログアウト]** をクリックします。

ユーザーを追加: グループにユーザーを追加し、そのユーザーの権限を構成します。

図 5-34 ユーザー追加構成インターフェース

デフォルトのユーザーには 2 種類あります。

- admin
- 隠しユーザー "default"

隠しユーザー "default" は、内部システムのみのものであり、削除することはできません。ログインユーザーがない場合は、ログインにはこの隠しユーザー "default" が自動的に使用されます。隠しユーザーがログインしなくてもチャンネルを表示できるように、監視機能などのユーザーの権限を構成できます。

ユーザーを追加するには、**Add User**[ユーザーを追加]構成インターフェースでユーザー名とパスワードを入力し、グループを選択します。一般ユーザーの権限が管理ユーザーよりも少ないよう確認してください。

注 ユーザーの権利は、ユーザーが所属するグループの権利を超えることはできません。

ユーザーを変更: ユーザーのグループ、パスワード、および権限を含むプロパティを変更するには  をクリックします。

図 5-35 ユーザー変更インターフェース

パスワードを変更: 古いパスワードを一度入力し、新しいパスワードを 2 回入力して新しいパスワードを確認します。 **Save**[保存]をクリックして新しい設定を保存します。

注 パスワードには、数字と文字のみを使用して 32 文字まで入力できます。

アカウント権限を持つユーザーのみが他のユーザーのパスワードを変更できます。

Group[グループ]

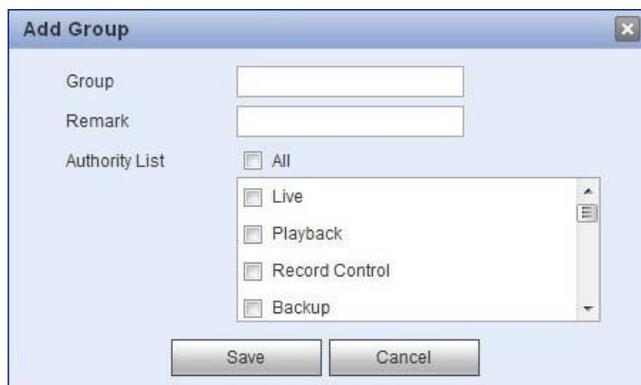
Group[グループ]構成インターフェースでは、グループを追加/削除したり、グループのパスワードを変更することができます。

図 5-36 グループ構成インターフェース



Add Group[グループを追加], をクリックしてグループ名を入力し、**Authority List[権限リスト]**からグループに割り当てる権利（例えば、**Live[ライブ]**、**Record Control[レコードコントロール]**、**Account[アカウント]**）を選択して **Save[保存]** をクリックします。

図 5-37 グループ追加インターフェース



Modifying a Group[グループを変更] をクリックして、グループに割り当てられている発言および/または権限を編集します。 **Save[保存]** をクリックして新しい設定を保存します。

図 5-38 グループ変更インターフェース



出荷時設定の復元

Default[デフォルト]をクリックすると、カメラが出荷時のデフォルト設定に戻ります。

図 5-39 デフォルトインターフェース



注 システムは、ネットワーク IP アドレスなどの一部の情報をリセットすることはできません。

Import/Export[インポート/エクスポート]

図 5-40 インポート/エクスポート構成インターフェース



表 5-23 インポート/エクスポート構成

パラメータ	機能
Import[インポート]	ローカル設定ファイルをシステムにインポートする場合にクリックします。
Export[エクスポート]	現在のシステム設定をローカル PC にエクスポートする場合にクリックします。

自動メンテナンス

Auto Reboot[自動再起動]、Auto Delete Old Files[古いファイルを自動消去]、または Manual Reboot[マニュアル再起動]のいずれかが選択できます。

自動再起動: 日 (Everyday[毎日]または Monday[月曜]から Sunday[日曜]) と時刻 (00:00 から 24:00) を選択すると、カメラが自動再起動します。

図 5-41 Auto Maintain[自動メンテナンス]構成インターフェース



Upgrade[アップグレード]

図 5-42 アップグレードインターフェース



Browse[ブラウズ]をクリックしてコンピュータのアップグレードファイルの場所に移動し、それを選択して Upgrade[アップグレード]をクリックします。

注意事項 不適切なアップグレードファイルを選択すると、カメラの誤動作の原因となることがあります。

システム情報の表示

Version[バージョン]

Version[バージョン]インターフェースでは、システムハードウェアの機能、ソフトウェアのバージョン、およびリリース日を表示できます。このマニュアルは参照目的のみに作成されています。

図 5-43 バージョンインターフェース



Log[ログ]

図 5-44 ログインインターフェース

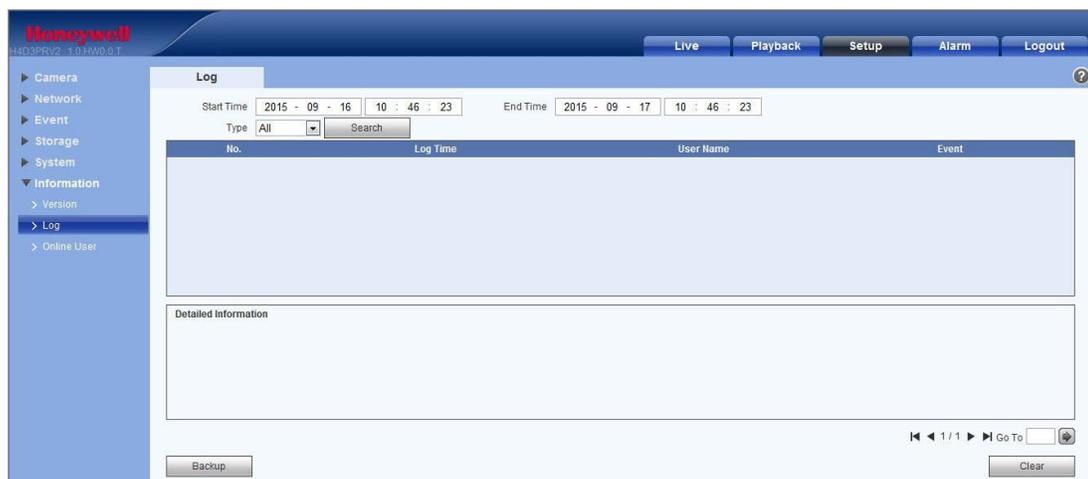


表 5-24 ログインインターフェース構成

パラメータ	機能
Start Time[開始時刻]	要求されたログの開始時刻を設定します。
End Time[終了時刻]	要求されたログの終了時刻を設定します。
Type[タイプ]	ログタイプを選択します。 System [システム]、 Setting [設定]、 Data [データ]、 Event [イベント]、 Record [録画]、 Account [アカウント]、 Clear Log [ログをクリア]
検索	ドロップダウンリストからログの種類を選択し、 Search [検索]をクリックして、検索によって生成された一覧を表示します。現在の検索を終了するには、 Stop [停止]をクリックします。
Log Information[ログ情報]	詳細情報を表示するには、1つの項目を選択します。
Backup[バックアップ]	Backup [バックアップ]をクリックして、現在選択されている PC にログファイルをバックアップします。
Clear[クリア]	Clear [クリア]をクリックすると、表示されたすべてのログファイルが削除されます。 注 タイプによるクリアはサポートされていません。

Online User[オンラインユーザー]

現在のオンラインユーザー、グループ名、IP アドレス、ログイン時間を表示できます。

図 5-45 オンラインユーザーインターフェース



6 イベントとアラームの設定

この章は以下の項で構成されています。

- [動き検出設定の構成](#)、ページ65
- [カメラ改ざん設定の構成](#)、ページ68
- [システムイベント設定の構成](#)、ページ69
- [アラームの設定](#)、ページ72

イベントの設定

動き検出設定の構成

図 6-1 動画検出構成インターフェース

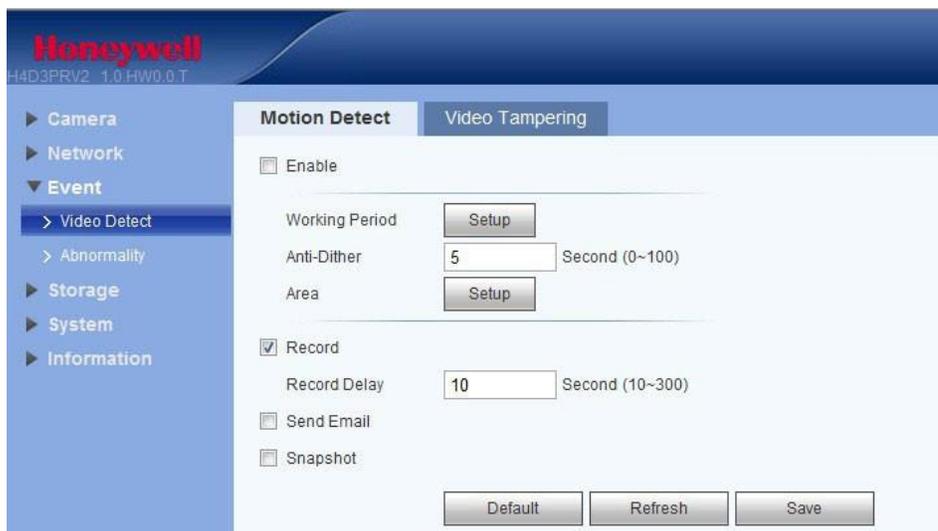


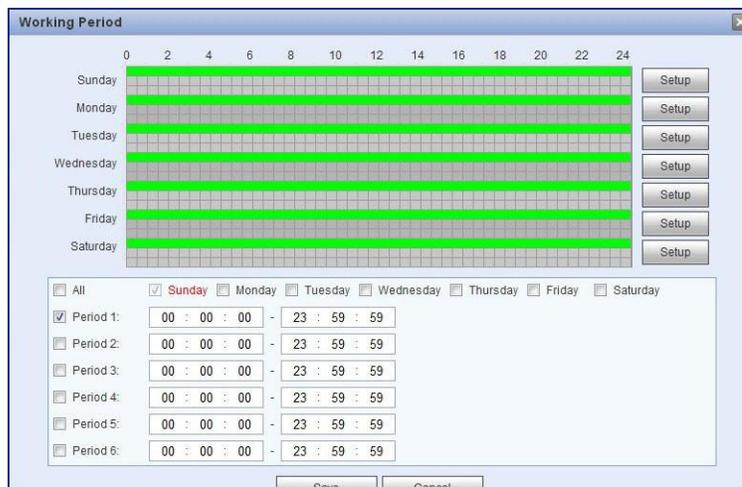
表 6-1 動画検出構成

パラメータ	機能
Enable[有効化]	ボックスにチェックを入れて動き検出を有効にします。
Working Period[作動期間]	警戒/警戒解除期間を設定します。 Setup[設定] をクリックして設定メニューを開きます。 Working Period[作動時間]の設定 (ページ 66.) を参照してください。

パラメータ	機能
Anti-Dither[アンチディザ (ブレ防止)]	ブレ防止設定時間内では、1つのイベントのみが記憶されます。 ブレ防止設定時間を0~100秒の間で選択します。
Area[エリア]	動き検出領域、感度、およびエリアを設定します。デフォルト設定はエリア全体をカバーします。 Save [保存]をクリックしてこれらの設定を有効にします。 動き検出エリアの設定 (ページ 66) を参照してください。
録画	Record [録画]を有効にすると、動き検出を出して録画することができます。
Record Delay[録画遅延]	システムは、アラームが終了した後、指定された時間だけ録画を遅らせることができます。 10~300 秒の遅延期間を選択します。
Send Email[Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときにEメールアラートが送信されます。
Snapshot[スナップショット]	ボックスにチェックを入れると、システムが動き検出スナップショットファイルをバックアップできるようになります (スナップショットの保存場所の設定については、 Path [パス] (ページ 51) を参照してください)。

Working Period[作動時間]の設定

図 6-2 作動時間の設定



動き検出エリアの設定

図 6-3 動き検出エリア設定

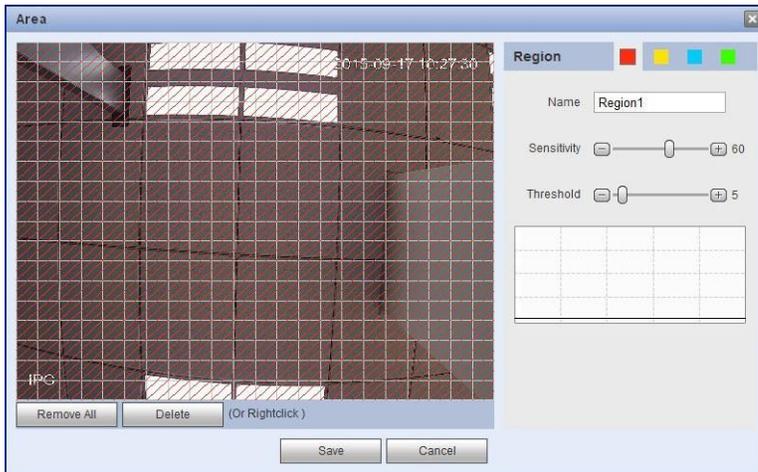


表 6-2 動き検出エリア設定

パラメータ	機能
Sensitivity[感度]	輝度感度を調節します。動き検出を行うために輝度感度を上げる必要がある可能性があります。最大4つのエリアを設定できます。輝度0～100の範囲です。選択する感度の推奨範囲は30～70です。デフォルトは60です。
Threshold[閾値]	閾値は、アラームを鳴らすために必要なシーンの変化量を決定します。閾値設定が低いほど、動き検出アラームを鳴らすのが簡単になります。最大4つのエリアを設定できます。感度は0～100の範囲です。選択する感度の推奨範囲は5～50です。
すべて 削除	すべての動き検出エリアを削除します。
Delete[削除]	選択した動き検出領域を削除します。

カメラ改ざん設定の構成

図 6-4 改ざん構成インターフェース

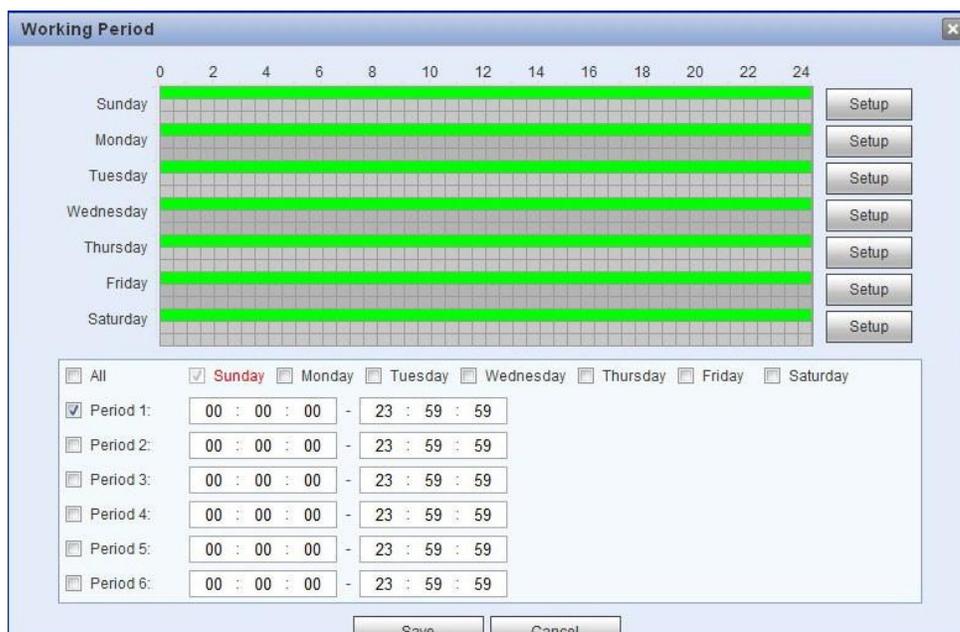


表 6-3 改ざん構成

パラメータ	機能
Enable[有効化]	<p>チェックを入れてカメラ改ざん検出機能（Video Tamper[動画改ざん]および/または Defocus Detect[ピンぼけ検出]）を有効にします。</p> <p>注 Defocus Detect[ピンぼけ検出]は、次のモデルのみにてサポートされています。 HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2</p>
Working Period[作動期間]	<p>カメラ改ざん機能は、指定された期間中有効になります。</p> <p>Working Period[作動時間]の設定（ページ 66 を参照してください）。</p> <p>1 日あたり最大 6 つの期間を設定できます。日付を選択します。日付を選択しない場合は、現在の設定が今日のみ適用されます。All[すべて]を選択すると、作業期間が週全体に適用されます。</p> <p>OK をクリックして変更を保存します。システムは Motion Detection[動き検</p>

	出]インターフェースに戻ります。 Save [保存]をクリックして終了します。
Record [録画]	Record [録画]を有効にすると、カメラの改ざんイベントによって録画がアクティブになります。
Record Delay [録画遅延]	システムは、録画を開始する前に指定された時間待機します。 10~300 秒の範囲で選択できます。
Send Email [Eメール送信]	この機能を有効にすると、アラームが発生したときに E メールアラートが送信されます。
Snapshot [スナップショット]	有効にすると、システムはアラームが発生したときに E メールアラートにスナップショットを添付します。

図 6-5 改ざん作動期間構成インターフェース



システムイベント設定の構成

システムイベントには **No SD Card**[SD カードなし]、**Capacity Warning**[容量警告]、**SD Card Error**[SD カードエラー]、**Disconnection**[切断]、**IP Conflict**[IP 競合]、および **Unauthorized Access**[不正アクセス]があります。

注

マイクロ SD カードを搭載したカメラにのみ適用可能
(H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2).

SD カードイベント設定の構成

SD カードイベントには **No SD Card**[SD カードなし]、**SD Card Error**[SD カードエラー]、および **Capacity Warning**[容量警告]があります。

図 6-6 SD カードなし警告構成インターフェース



図 6-7 SD カードエラー警告構成インターフェース



図 6-8 容量警告構成インターフェース



1. マイクロ SD カードエラーが発生したときにアラームを鳴らすには、**Enable**[有効化]をクリックします。
2. マイクロ SD カードエラーが発生したときに指定の受信者に E メールを送信するには、**Email**[E メール]をクリックします。

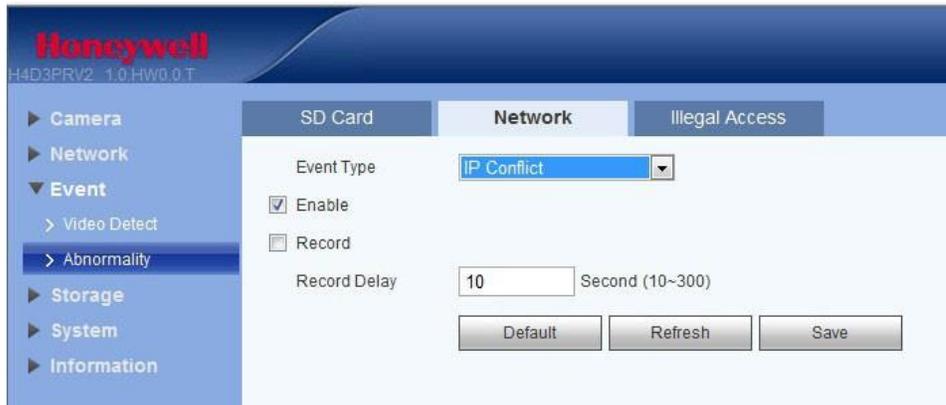
注 ネットワークがオフラインの場合や、IP 競合がある場合は、E メールを送信できません。

ネットワークイベント設定の構成

図 6-9 切断構成インターフェース



図 6-10 IP 競合構成インターフェース



1. ネットワークの切断または IP 競合が発生したときにアラームを鳴らすには、**Enable**[有効化]をクリックします。
2. ネットワークの切断または IP 競合が発生したときに動画をマイクロ SD カードに録画するには、**Record**[録画]をクリックします。

注 **Record**[録画]は、次のモデルのみにてサポートされています。
H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/
H4W2PRV2/H4W4PRV2

不正アクセスイベント設定の構成

システムが不正アクセスアラームを鳴らすのに必要なログインの失敗回数を指定できます。

図 6-11 不正アクセス構成インターフェース



1. カメラへの不正アクセスが試みられたときにアラームを鳴らすには、**Enable**[有効化]をクリックします。
2. ユーザーがログインを試行できる回数を **3~10** の範囲で入力します。
3. カメラの不正アクセスが試みられたときに指定の受信者に E メールを送信するには、**Email**[E メール]をクリックします。

アラームの設定

Alarm[アラーム]タブをクリックしてアラーム構成インターフェースを開きます。

図 6-12 アラーム構成インターフェース

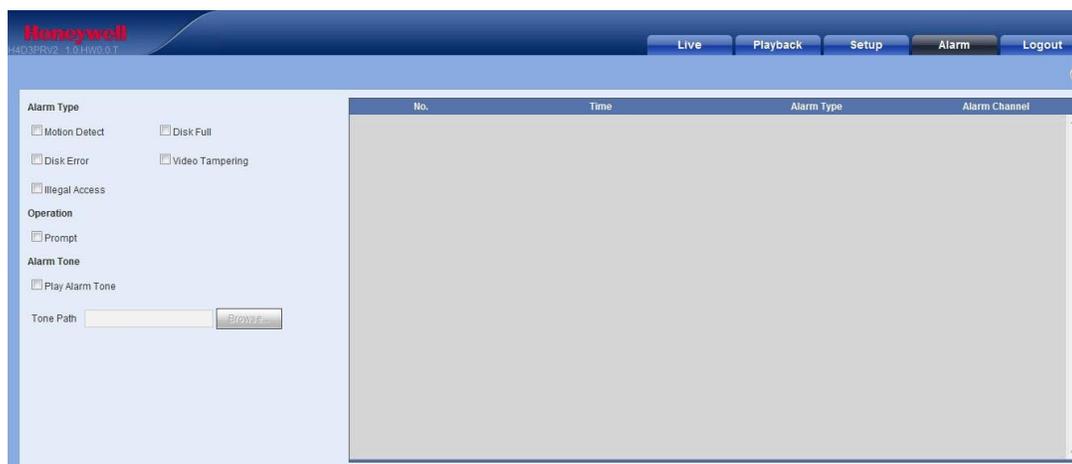


表 6-4 アラーム構成

Type[タイプ]	パラメータ	機能
Alarm Type[アラームタイプ]	Motion Detection[動き検出]	動き検出イベントが発生すると、システムはアラームを發します。
	Tampering[改ざん]	カメラが改ざんされると、システムはアラームを發します。
	Disk Full[ディスク満杯]	ディスク（マイクロ SD カード）が満杯の場合に、システムはアラームを發します。 注 この機能は、次のモデルのみにてサポートされています。 H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2
	Disk Error[ディスクエラー]	マイクロ SD カードエラーが発生すると、システムはアラーム情報を記録します。 注 この機能は、次のモデルのみにてサポートされています。 H2W2PRV3/H2W4PRV3/HBW2PR2/HBW4PR2/HEW2PR2/HEW4PR2/H4W2PRV2/H4W4PRV2
	Illegal Access[不正アクセス]	カメラへの不正アクセスが試みられると、システムは警告を發します。
Operation[操作]	Prompt[入力]	アラームダイアログボックスが表示されます。
Alarm Tone[アラーム音]	Play Alarm Tone[アラーム音を再生]	アラームが発生すると、システムは自動的に可聴音を生成します。アラーム音入力で、PC から音を選択することができます。
	Tone Path[トーン(音)パス]	アラーム音声ファイルを選択します。

7 トラブルシューティング

パフォーマンスの問題を解決するには、次のガイドラインを参照してください。更にサポートが必要な場合は、Honeywell テクニカルサポートにご連絡ください（連絡先情報は裏面に記載されています）。

ダウンロードしたファイルを再生できない

- カメラに同梱された CD に収録されているプレーヤーを使用してください。
- PC に DirectX の Ver. 8.1 以上がインストールされていることを確認してください。
- AVI ファイルを再生するには DivX503Bundle.exe プラグインをインストールしてください。
- Windows XP の場合は、ffdshow コーデックをインストールしてください。

埋め込み型 NVR 解像度が 3MP 以下に設定されていると、カメラのフレーム率を 20fps より大きく設定できない

1. NVR で、NVR 設定に移動して解像度を 3MP に設定し、**Save**[保存]をクリックします。
2. **Remote Device**[遠隔デバイス]に移動して **Delete**[削除]をクリックしてカメラを削除します。次に、Searched Device[検索したデバイス]領域でカメラを選択して **Add**[追加]をクリックします。
3. Added Device[追加したデバイス]領域でカメラの **Modify**[変更]をクリックします。製造元のドロップダウンリストから **ONVIF** を選択し、**Save**[保存]をクリックします。

これで、NVR側で3MP以下の解像度でフレーム率を20fps以上に設定できるようになります。

NVRで4MP解像度を取得できない

1. NVRが4MP (2688×1520) 解像度をサポートしていることを確認してください（表7-1参照）。
2. NVRで、NVR設定の**Remote Device**[デバイスを削除]に移動して、追加したデバイス領域で4MPカメラの**Modify**[変更]をクリックします。製造元のドロップダウンリストから**ONVIF**を選択し、**Save**[保存]をクリックします。これで、NVR側で4MP解像度を設定できます。

<p>IR 動画の画質が悪い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給が適切であることを確認してください。電力供給が不十分だと、IRライトをサポートできない場合があります。 照らし出す対象物がカメラのIR範囲内にあることを確認します。 IRカットフィルターがNight[夜間]モードに切り替わらない場合、カメラ前面の感光性チップが誤動作している可能性があります。
<p>ネットワーク経由でファームウェアをアップグレードできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク経由でファームウェアをアップグレードできない場合は、ポート3800を使用してみてください。
<p>Web クライアントをインストールできない/ web クライアントにログインできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブラウザのセキュリティ設定でActiveXコントロールが許可されていることを確認してください。 PCにDirectXのver. 8.1以上がインストールされていることを確認してください。 有効なネットワーク設定ができていて、正しいログインユーザー名とパスワードを使用していることを確認してください。
<p>カメラハウジングへの水漏れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> フロントガラスキャップとリア防水キャップがしっかり取り付けられていることを確認してください。フロントキャップとリアキャップを緩めたり取り外したりすると、水がハウジングに入ることがあります。
<p>電源が不安定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 付属の電源アダプタの動作温度範囲は約0〜40°Cです。氷点下でカメラを操作する場合は、産業用レベルの電源アダプタに交換してください。 UPS電源の使用を強く推奨いたします。

埋め込み型 NVR 統合キャパシティマトリックス

パフォーマンス シリーズ IP カメラと Honeywell 埋め込み型 NVR を統合する場合は、次の表を参照してください。

表 7-1 埋め込み型 NVR 統合マトリックス - 最大フレーム率と解像度

部品番号	HEN04112	HEN04122	HEN08122	HEN08142	HEN08162	HEN16132	HEN16162
H2W2PRV3	25/30 fps @1920×1080						
H2W4PRV3	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
HBW2PR1	25/30 fps @1920×1080						
HBW4PR1	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
HEW2PR1 HEW2PRW1	25/30 fps @1920×1080						
HEW4PR3 HEW4PRW3	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
H4W4PRV3	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
H4W2PRV2	25/30 fps @1920×1080						
H4W4PRV2	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
HBW2PR2	25/30 fps @1920×1080						
HBW4PR2	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						
HEW2PR2	25/30 fps @1920×1080						
HEW4PR2	25/30 fps @2304×1296 20 fps @2688×1520						

8 カメラの仕様

HEW2PR1/HEW2PRW1/HEW4PR3/HEW4PRW3 ボールカメラ

表 8-1 HEW2PR1/HEW2PRW1/HEW4PR3/HEW4PRW3 仕様

カメラ	
画像センサー	HEW2PR1/HEW2PRW1: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS HEW4PR3/HEW4PRW3: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	HEW2PR1/HEW2PRW1: 1920×1080 (2 MP) HEW4PR3/HEW4PRW3: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	HEW2PR1/HEW2PRW1: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) / 0 lux (IR LED 付きの白黒) HEW4PR3/HEW4PRW3: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) / 0 lux (IR LED 付きの白黒)
レンズ	HEW2PR1/HEW2PRW1: 固定、3.6 mm @ F2.0 HEW4PR3/HEW4PRW3: 固定、2.8 mm @ F2.0
水平画角	HEW2PR1/HEW2PRW1: 91° HEW4PR3/HEW4PRW3: 110°
自動電子シャッター	1/3 - 1/100000 秒
S/N 比	> 50 dB
IR 範囲	シーンの反射率に応じて最長 40m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/晴天/夜間/屋外/手動
ゲイン制御	自動/手動

ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	HEW2PR1/HEW2PRW1: 25/30 fps @ 1920 × 1080 (2 MP), 1280 × 720 (720p), 704 × 576/704 × 480 (D1), 352 × 288/352 × 240 (CIF) HEW4PR3/HEW4PRW3: 20 fps @ 2688 × 1520 (4 MP); 20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP); 25/30 fps @ 2304 × 1296 (3 MP), 1920 × 1080 (1080p), 1280 × 720 (720p), 704 × 576/704 × 480 (D1), 352 × 288/352 × 240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32Kbps – 10 Mbps
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC, PoE (802.3af)
消費電力	HEW2PR1/HEW2PRW1: 最大 4.0W (IR LED オン) HEW4PR3/HEW4PRW3: 最大 3.7 W (IR LED オン)
動作温度範囲	--30~60°C
相対湿度	<95%
保護レベル	IP66
寸法	106.0 × 93.7 mm
重量	0.47 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー

推奨アクセサリ

HQA-WK2 ウォールマウント
HQA-BB3 接続箱 (ケーブルボックス)
HQA-PM ポールマウント
HB34S2-CM コーナーマウント

HBW2PR1/HBW4PR1 Bullet カメラ

表 8-2 HBW2PR1/HBW4PR1 仕様

カメラ	
画像センサー	HBW2PR1: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS HBW4PR1: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	HBW2PR1: 1920×1080 (2 MP) HBW4PR1: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	HBW2PR1: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) /0 lux (白黒、IR LED オン) HBW4PR1: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) /0 lux (白黒、IR LED オン)
レンズ	HBW2PR1: 固定、3.6 mm @ F2.2 HBW4PR1: 固定、3.6 mm @ F2.1
水平画角	HBW2PR1: 93° HBW4PR1: 84°
自動電子シャッター	1/3 – 1/1000000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 40m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/晴天/夜間/屋外/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	HBW2PR1: 25/30 fps @ 1920 × 1080 (2 MP)、1280 × 720 (720p)、704 × 576 / 704 × 480 (D1)、352 × 288 / 352 × 240 (CIF) HBW4PR1: 20 fps @ 2688 × 1520 (4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @ 2304 × 1296 (3 MP)、1920 × 1080 (1080p)、1280 × 720 (720p)、704 × 576 / 704 × 480 (D1)、352 × 288 / 352 × 240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32Kbps – 10 Mbps
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X

互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC, PoE (802.3af)
消費電力	HBW2PR1: < 6.5 W HBW4PR1: < 6 W
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
保護レベル	IP66
寸法	181.0 × 70.0 mm
重量	0.53 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HQA-BB1 接続箱 (ケーブルボックス) HQA-PM ポールマウント HB34S2-CM コーナーマウント

H2W2PRV3/H2W4PRV3 マイクロ ドーム カメラ

表 8-3 H2W2PRV3/H2W4PRV3 仕様

カメラ	
画像センサー	H2W2PRV3: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS H2W4PRV3: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	H2W2PRV3: 1920×1080 (2 MP) H2W4PRV3: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	H2W2PRV3: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) /0 lux (白黒、IR LED オン) H2W4PRV3: 0.01 lux @ F2.0 (カラー) /0 lux (白黒、IR LED オン)
レンズ	H2W2PRV3: 固定、2.8 mm @ F2.0 H2W4PRV3: 固定、2.8 mm @ F2.0
水平画角	H2W2PRV3: 120° H2W4PRV3: 106°
自動電子シャッター	1/3 – 1/100000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 20 m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/晴天/夜間/屋外/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	H2W2PRV3: 25/30 fps @ 1920 ×1080 (2 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF) H2W4PRV3: 20 fps @ 2688×1520(4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @2304×1296(3 MP)、1920×1080(1080p)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32Kbps – 10 Mbps
ローカル記憶装置	マイクロ SD (最大 128 GB)

オーディオ	
圧縮	G.711、AAC
インターフェース	内蔵マイク
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S、CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版、およびタブレット版の HonView Touch
共通	
電源	12 VDC、PoE (802.3af)
消費電力	<5 W
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
IP 保護等級	IP66
寸法	106.0 × 50.3 mm
重量	0.47 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HQA-WK2 ウォールマウント HQA-BB3 接続箱 (ケーブルボックス) HQA-PM ポールマウント HB34S2-CM コーナーマウント

H4W4PRV3 ミニドームカメラ

表 8-4 H4W4PRV3 仕様

カメラ	
画像センサー	1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	2688×1520 (4 MP)
最小照度	0.01 lux @ F2.0 (カラー) / 0 lux (白黒、IR LED オン)
レンズ	固定、2.8 mm @ F2.0
水平画角	106°
自動電子シャッター	1/3 – 1/100000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 30 m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/晴天/夜間/屋外/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	20 fps @ 2688×1520(4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @ 2304×1296(3 MP)、1920×1080(1080p)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32Kbps – 10 Mbps
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版、およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC, PoE (802.3af)

消費電力	最大 4.0W (IR LED オン)
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
保護レベル	IP66
寸法	110.0 × 81.0 mm
重量	0.47 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HQA-WK ウォールマウント HQA-BB3 接続箱 (ケーブルボックス) HQA-PM ポールマウント HB34S2-CM コーナーマウント

H4W2PRV2/H4W4PRV2 ミニドームカメラ

表 8-5 H4W2PRV2/H4W4PRV2 仕様

カメラ	
画像センサー	H4W2PRV2: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS H4W4PRV2: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	H4W2PRV2: 1920×1080 (2 MP) H4W4PRV2: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	0.1 lux @ F1.4 (カラー)/0 lux @ F1.4 (白黒、IR LED オン)
レンズ	MFZ、2.7-12 mm @ F1.4
水平画角	H4W2PRV2: 93°-35° H4W4PRV2: 86°-30°
自動電子シャッター	1/3 – 1/100000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 30 m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	H4W2PRV2: 25/30 fps @ 1920 ×1080 (2 MP)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA); 25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF) H4W4PRV2: 20 fps @ 2688×1520(4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @2304×1296(3 MP)、1920×1080(1080p)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA)、25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32 Kbps – 10 Mbps
ローカル記憶装置	マイクロ SD (最大 128 GB)
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、

	QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版、およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC, PoE (802.3af)
消費電力	<8 W
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
IP 保護等級	IP66
破壊抵抗	IK10
寸法	122.0 × 88.9 mm
重量	0.5 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
	HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
	HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HQA-WK ウォールマウント
	HQA-BB2 接続箱
	HB34S2-CM コーナーマウント
	HQA-PM ポールマウント

HEW2PR2/HEW4PR2 ボールカメラ

表 8-6 HEW2PR2/HEW4PR2 仕様

カメラ	
画像センサー	HEW2PR2: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS HEW4PR2: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	HEW2PR2: 1920×1080 (2 MP) HEW4PR2: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	0.1 lux @ F1.4 (カラー)/0 lux @ F1.4 (白黒、IR LED オン)
レンズ	MFZ、2.7-12 mm @ F1.4
水平画角	HEW2PR2: 86°-30° HEW4PR2: 86°-30°
自動電子シャッター	1/3 – 1/100000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 60m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	HEW2PR2: 25/30 fps @ 1920 × 1080 (2 MP)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA)、25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF) HEW4PR2: 20 fps @ 2688×1520(4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @ 2304×1296(3 MP)、1920×1080(1080p)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA)、25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32 Kbps – 10 Mbps
ローカル記憶装置	マイクロ SD (最大 128 GB)
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、

	QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版、およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC、PoE (802.3 af)
消費電力	HEW2PR2: <7 W HEW4PR2: <7.5 W
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
IP 保護等級	IP66
寸法	122.0 × 102.0 mm
重量	0.55 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HQA-WK ウォールマウント HQA-BB2 接続箱 HB34S2-CM コーナーマウント HQA-PM ポールマウント

HBW2PR2/HBW4PR2 Bullet カメラ

表 8-7 HBW2PR2/HBW4PR2 仕様

カメラ	
画像センサー	HBW2PR2: 1/2.7" 2 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS HBW4PR2: 1/3" 4 メガピクセルプログレッシブスキャン CMOS
最大有効画素数 (H×V)	HBW2PR2: 1920×1080 (2 MP) HBW4PR2: 2688×1520 (4 MP)
最小照度	0.1 lux @ F1.4 (カラー)/0 lux @ F1.4 (白黒、IR LED オン)
レンズ	MFZ、2.7-12 mm @ F1.4
水平画角	HBW2PR2: 93°-35° HBW4PR2: 86°-30°
自動電子シャッター	1/3 - 1/100000 秒
S/N 比	>50 dB
IR 範囲	画像の反射率に応じて最長 60m
昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒
BLC/WDR	BLC/HLC/WDR (120 dB)
ホワイトバランス	自動/手動
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3D DNR
動き検出	最大 4 エリア
プライバシーマスク	最大 4 エリア
動画	
圧縮	H.264/H.264H/H.264B/MJPEG
フレーム率	HBW2PR2: 25/30 fps @ 1920 ×1080 (2 MP)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA); 25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF) HBW4PR2: 20 fps @ 2688×1520(4 MP)、20 fps @ 2560 × 1440 (4 MP)、25/30 fps @2304×1296(3 MP)、1920×1080(1080p)、25/30fps @ 1280×1024 (SXGA)、25/30fps @ 1280×960 (1.3 MP)、1280×720 (720p)、704×576/704×480 (D1)、352×288/352×240 (CIF)
ビットレート (H.264)	32 Kbps - 10 Mbps
ローカル記憶装置	マイクロ SD (最大 128 GB)
ネットワーク	
イーサネット	RJ-45 (10/100Base-T)
サポートされているプロトコル	IPv4/IPv6、HTTP、HTTPS、TCP/IP、UDP、UPnP、ICMP、IGMP、RTSP、RTP、SMTP、NTP、DHCP、DNS、PPPoE、DDNS、FTP、IP フィルタ、

	QoS、SSL、SNMP、Bonjour、802.1X
互換性	ONVIF プロファイル S, CGI
ユーザーアクセス	最大 20 ユーザー
モバイルアプリ	iPhone 版、Android スマートフォン版、およびタブレット版の HonView Touch
一般	
電源	12 VDC, PoE (802.3af)
消費電力	HBW2PR2: <13 W HBW4PR2: <12.5 W
動作温度範囲	-30~60°C
相対湿度	<95%
IP 保護等級	IP66
寸法	73.4 × 79.7 × 214.8 mm
重量	0.65 kg
規制	FCC: Part 15B Class B
システム互換性	HEN041*2(X) H.264 4 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
	HEN081*2(X) H.264 8 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
	HEN161*2(X) H.264 16 チャンネル 1080p 埋め込み型ネットワークビデオレコーダー
推奨アクセサリ	HBS2-BB 接続箱
	HB34S2-CM コーナーマウント
	HQA-PM ボールマウント

記号の一覧

以下は、カメラに表示される可能性のある記号の一覧です。

記号	詳細
	<p>WEEE 記号</p> <p>この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物から分離することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が節約されます。</p>
	<p>UL適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品がテストされ、UL (旧Underwriters Laboratories) によってリストされていることを示します。</p>
	<p>FCC適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。</p>
	<p>直流記号</p> <p>この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示します。</p>
	<p>交流記号</p> <p>この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示します。</p>
	<p>RCM適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品がオーストラリアのRCMガイドラインに適合していることを示しています。</p>
	<p>CE適合ロゴ</p> <p>このロゴは、製品が欧州連合調和法の関連するガイドライン/規格に適合していることを示しています。</p>
	<p>注意記号</p> <p>この記号は重要な情報を示します。</p>
	<p>保護接地 (アース) 記号</p> <p>この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。</p>

**Honeywell Security Products Americas
(本社)**

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite 150
Louisville, KY 40299, USA
www.honeywell.com/security
☎+1 800 323 4576

Honeywell Security Europe/South Africa

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial
Estate
Runcorn, WA7 3DL, United Kingdom
www.honeywell.com/security/uk
☎+44 (0) 1928 754 028

**Honeywell Security Products Americas
Caribbean/Latin America**

9315 NW 112th Ave. Miami, FL
33178, USA
www.honeywell.com/security/clar
☎ +1 305 805 8188

Honeywell Security Asia Pacific

35F Tower A, City Center, 100 Zun Yi Road
Shanghai 200051, China
www.asia.security.honeywell.com
☎ +86 21 2219 6888

Honeywell Security Middle East/N. Africa

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road
Building No. 2, Office No. 301
Post Office Box 232362
Dubai, United Arab Emirates
www.honeywell.com/security/me
☎ +971 (0) 4 450 5800

Honeywell Security Northern Europe

Ampèrestraat 41
1446 TR Purmerend, The Netherlands
www.honeywell.com/security/nl
☎ +31 (0) 299 410 200

Honeywell Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
D72458 Albstadt, Germany
www.honeywell.com/security/de
☎ +49 (0) 7431 801-0

Honeywell Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie
3-7 rue Georges Besse
92160 Antony, France
www.honeywell.com/security/fr
☎ +33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Security Italia SpA

Via della Resistenza 53/59
20090 Buccinasco, Milan, Italy
www.honeywell.com/security/it
☎ +39 (0) 2 4888 051

Honeywell Security España

Avenida de Italia, nº 7, 2a planta
C. T. Coslada
28821 Coslada, Madrid, Spain
www.honeywell.com/security/es
☎ +34 902 667 800

Honeywell Security Россия и СНГ

121059 Moscow, UI, Kiev 7
Russia
www.honeywell.com/security
☎ +7 (495) 797-93-71

Honeywell

www.honeywell.com/security

ハネウェルジャパン株式会社

ホーム&ビルディング・テクノロジーズ

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー20F

+1 800 323 4576 (北米のみ)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

© 2016 Honeywell International Inc.無断複写・転載を禁じます。Honeywellの書面による許諾なく本書のいかなる部分も転載することはできません。本書の情報は、あらゆる点で正確であると考えられていますが、Honeywellは、その使用に起因するいかなる結果についても責任を負いかねます。ここに記載されている情報は予告無く変更されることがあります。そのような変更を織り込むために、本書の改訂または新版が発行されることがあります。特許情報については、www.honeywell.com/patentsを参照してください。

